

30 大学図書館-1(共同利用機関)

放送大学附属図書館

住所:261-8586 千葉県美浜区若葉 2 丁目 11 開設年:1990 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 746,000 冊 職員総数(常勤のみ):7 人

回答担当:放送大学学園・教育研究支援部図書情報課

目的 〔達成状況〕	①広報活動〔大学の知名度向上に貢献できた〕 ②活動成果の普及〔放送大学研究年報については、遡及分も含めてほとんどの論文が公開されている〕 ③調査研究用〔古写真画像の二次的利用が増加した〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:大学図書館においてデジタルアーカイブ構築にたずさわった経験がある。 ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料 ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【放送大学附属図書館・提供アーカイブ】

■放送大学研究年報 (1 件目/2 件中)

公開年:2005 年 URL:<http://lib.u-air.ac.jp/search/report.html> 更新頻度:年 1 回程度

概要	放送大学研究年報には、本学教員の論文が掲載されており、それらを電子化・公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:26 件〔放送大学研究年報 1 号～26 号〕 ◆コンテンツ増加量:15 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館のトップページからリンクを張り、アクセスしやすくしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:— ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1～100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■日本残像 (2 件目/2 件中)

公開年:2005 年 URL:<http://lib.u-air.ac.jp/koshashin/koshashin.html> 更新頻度:—

概要	放送大学附属図書館が所蔵する古写真の画像を解説付きで公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:200 件〔古写真画像約 200 点〕 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円〔新たなアーカイブを行っていない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル: JPEG, GIF ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

31 大学図書館-2(国立)

北海道大学附属図書館

住所:060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 開設年:1876年 設置母体:国立
 所蔵資料:蔵書3,708,350冊/所蔵品80,637点 職員総数(非常勤を含む):112人
 回答担当:管理課

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔形態の違う貴重資料を総合的に検索し,利用できるようになった〕 ②活動成果の普及〔画像データ,全文データの公開により,資料のイメージを描きやすくなった〕 ③広報活動〔学外からの検索が増え,資料の所在が広く知られるようになった〕
所蔵資料の 収録率	1%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:平成5年度以降,毎年科研費に応募し,アーカイブの充実に務めている。
人員	◆運営担当者:その他:職員のうち,システム管理担当者と北方資料室担当者が兼任している ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:権利処理に関する問題は発生していない ◎課題・工夫点等:権利保有者やその所在が不明な資料の確認,「人格権」を侵害しないための配慮などが公開をすすめるうえでの課題。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【北海道大学附属図書館・提供アーカイブ】

■北方関係資料総合データベース (1件目/1件中)

公開年:1993年 URL:<http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/hoppodb/index.html> 更新頻度:年1回程度

概要	主に北方資料室で所蔵する古写真・古地図・図類・写本など,北方全域にわたる多様な主題による資料を文献の書誌と画像情報とで公開するもの ◆コンテンツ総容量:55GB ◆コンテンツ総件数(内訳):86,500件〔書誌71,000件,コンテンツ15,500件〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:140,000件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:OAI-PMHでのデータ提供
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算,その他:日本学術振興会, ◆予算獲得のきっかけ:平成5年度科研費の交付による ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔コンテンツ作成〕 ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD,DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:連携していない

室蘭工業大学附属図書館

住所:050-8585 室蘭市水元町 27-1 開設年:1949 年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 318,000 冊 職員総数(非常勤を含む):13 人

回答担当:図書・学術情報室学術情報係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔機関リポジトリで公開しており、達成できている〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:担当者は、図書館システムを管理する係において、機関リポジトリサーバ管理、デジタルアーカイブを行っており、特に専門知識等あるわけではない ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔数件/0 円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルリポジトリ連合(DRF)に加入している〕
その他 F.A.	—

【室蘭工業大学附属図書館・提供アーカイブ】

■室蘭工業大学紀要 (1 件目/1 件中)

公開年:2004 年 URL:<http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/koho.html> 更新頻度:年 1 回程度

概要	本学の学術研究成果(学術論文, 研究報告, 教育改善報告) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:372 件 ◆コンテンツ増加量:15 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:7,000 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:学内で予算要求した ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円〔内部人材が PDF 化〕
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館システム管理する係の担当者 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:— ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OpenURL, OAI-PMH ◆連携システム:IRDB コンテンツ分析システム, JAIRO, OAIster, (NII 経由で PORTA)

小樽商科大学附属図書館

住所:047-8502 小樽市緑3丁目5-21 開設年:1911年 設置母体:国立
 所蔵資料:蔵書452,011冊/所蔵品708点 職員総数(非常勤を含む):18人
 回答担当:学術情報課情報整理係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔予想を大きく上回るアクセス数があり、問い合わせ及び掲載希望が増えている〕 ②資料の保存・管理〔一点資料・歴史的資料の管理が安全に行いやすい〕 ③検索性の向上〔資料を使う業務の効率が飛躍的に向上〕
所蔵資料の 収録率	2%
運営予算	◆年間予算に占める割合:5.8% ◆外部委託費が占める割合:90% ◎課題・工夫点等:検索システムを自前で構築している。予算が交付されたとき、マイクロフィルム作成や電子画像化を集中的に、かつ、金額に応じて柔軟に実施。予算が少ないときやないときは、自前で撮影して、業務をすすめるとともに、将来の計画や今後の実施方法を検討できる。
人員	◆運営担当者:新規採用,知識の多い職員,知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:アーカイブによっては知識の少ない職員が担当している。緑丘アーカイブズ担当者は、歴史的資料整理の専門家(もともとは社会学を専攻)。私立大学の図書館勤務経験がある。2003年度に、国文学研究資料館の史料管理学研修長期コースを修了。2008年度には、国立公文書館の公文書館専門職員養成課程の長期コースを修了。昨年まで勤務していた非常勤職員の一人は、国文学研究資料館の史料管理学研修短期コースの修了者。業務でのプログラム作成は、必要に応じて独学 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:予算が工面できた際に、関係の研修会参加により、基本となる考え方を学んでいる。また、研修会や研究会での関係者から助言をいただいている。例えば、緑丘アーカイブズの画像処理については、デンマーク国立公文書館の担当者に面会し具体的に教えていただいた。必要な知識を学ぶだけでなく、(全てを網羅的に勉強できないこともあり、)他機関の成果や助言を生かせるようになることも重要である。一般的には、まずはマネができるようになり、次に独自のものを構築できるようになる。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,権利者との信頼関係 ◆処理状況:その他:概ね把握しているが年度による変動が大きいため平均値が確定できない ◎課題・工夫点等:権利処理するために費用がかかる場合には、利用公開を行わない。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔DRF(デジタルリポジトリ連合)に加入している〕 ◎課題・工夫点等:緑丘アーカイブズについては、将来、EAD(Encoded Archival Description 符号化記録史料記述)に準拠するようにし、国内外の機関(主に韓国中国)との連携がスムーズに可能となるようにしたいと考えている。学術成果コレクション(Barrel)については、OAI-PMHに準拠し、CiNii、WorldCat等に連携している。
その他 F.A.	緑丘アーカイブズについては、検索サーバ、データサーバ、画像サーバを別々に設置している。メンテナンスを容易にするとともに、システムを部分的に改良、変更をしやすいように考えている。

【小樽商科大学附属図書館・提供アーカイブ】

■小樽商科大学貴重図書全文画像データベース(洋書) (1件目/4件中) 公開年:2002年 URL: http://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/siryo/yosho/welcome.html 更新頻度:年1回程度	
概要	政治(仏革命資料200冊含む)、経済学、哲学、社会思想関係の西洋古典(原典)書の全文画像(TIF、PDF、JPGファイル) ◆コンテンツ総容量:500GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:308件〔書籍401冊(一部抜刷資料を含む)約8万頁〕 ◆コンテンツ増加量:35件(平成22年度以降の追加は未定)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供(CD、DVD、マイクロ化もしているが、提供はWebのみ) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:検索エンジンへの対応。図書館ホームページや他機関の同種(西洋古典)アーカイブズとの共同リンク等。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:利用者の資料公開の要望に応えるため ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔資料の電子化のみ(公開サーバーは自前)〕 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ICA(国際アーカイブズ評議会)のホームページ ◆メタデータ作成者:アーカイブズの専門員 ◆準拠フォーマット:ISAD(G)2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG、PDF ◆保存用ファイル:JPEG、PDF、TIF ◆記録媒体:HD、CD-ROM、DVD ◆長期保存のための取組:デジタルデータ消失に備えて、マイクロフィルムを併保存、保存用にTIF化。保存電子媒体の定期複製 ◎課題・工夫点等:提供には、初期作成のものはPDF。順次パソコンで利用しやすいJPEGに変更。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■小樽商科大学貴重図書全文画像データベース（漢籍） （2 件目/4 件中） 公開年: 2002 年 URL: http://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/siryo/kanseki/welcome.html 更新頻度: その他(予算が確保できれば追加予定)	
概要	中国の論語, 歴史, 政治関係の古文書・和漢書等の稀覯本の全文画像 (PDF, JPG ファイル) ◆コンテンツ総容量:40GB ◆コンテンツ総件数(内訳):15 件 [27 冊 約 12,000 頁] ◆コンテンツ増加量:不明(上記件数を 2 年で作成。他にも資料はあるが, 追加電子化は未定)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供(CD, マイクロ化もしているが, 提供は Web のみ) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:検索エンジンへの対応。図書館ホームページや他機関の同種(漢籍資料)アーカイブズとの共同リンク等。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:利用者の資料公開の要望に際するため ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [資料の電子化, ホームページへの接続] ◆コンテンツ作成費:101~200 万円
運営	◆年間運営予算(理由):0 円 [現在データの追加予定なし] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:業者 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:JPEG, PDF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, その他, :マイクロフィルム ◆長期保存のための取組:デジタルデータ消失に備えて, マイクロフィルムを併保存, 保存電子媒体の定期複製
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■小樽商科大学学術成果コレクション （3 件目/4 件中） 公開年: 2007 年 URL: http://barrel.ih.otaru-uc.ac.jp/ 更新頻度: ほぼ毎日	
概要	本学研究者が著した学術論文等や本学研究紀要の本文を無料で公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数(内訳):3,200 件(平成 21 年 12 月 10 日現在) [論文等 3,200 件] ※本学紀要も 1 号でなく論文ごとを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:1,800 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:50,000 件/月 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:Google や他 DB から入りやすい工夫をする, 催し物で広報する。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:その他:NII の CSI ◆予算獲得のきっかけ:NII の CSI 事業に応募申請し, 採択された ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [システムのインストール, カスタマイズ, 論文の電子化] ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:その他:NII の CSI ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:DRF のメーリングリスト ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:DC, JuNii ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:PDF ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, JAIRO, OAIster
■緑丘アーカイブズ （4 件目/4 件中） 公開年: 2003 年 URL: http://archives.ih.otaru-uc.ac.jp/ 更新頻度: ほぼ毎日	
概要	小樽商科大学(緑丘と称される)の歴史的資料の画像・関係写真・貴重図書を掲載 ◆コンテンツ総容量:4TB ◆コンテンツ総件数(内訳):4,700 件 [法人文書(一部学内刊行物)300 件, 旧植民地関係図書資料 2,000 件, 貴重図書 2,000 件, 学生新聞 400 件(約 17 万コマ)] ※法人文書は簿冊単位を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:800 件
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:不明 [無料の自由な利用をたてまえとしたので, アクセスカウンターを撤去し, 算出を中止した] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:検索システムの改良
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算(理由):0 円 [ColdFusion 以外 OS を含め無料プログラム] ◆予算獲得のきっかけ:2008 年度の特別教育研究経費(設備備品費) ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上(外注と内部撮影の併用)
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算, 支援団体の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ICA のホームページ ◆メタデータ作成者:アーカイブズの専門家 ◆準拠フォーマット:ISAD(G)2 EAD ◆利用・提供用ファイル:JPEG, PDF (JPEG を基本とし新聞など一部を PDF), Flash Video ◆保存用ファイル:TIF, FLV ◆記録媒体:HD, DVD, その他, :マイクロフィルム ◆長期保存のための取組:マイクロフィルムも作成し, デジタルは TIF 形式で保存 ◎課題・工夫点等:利用者のパソコンの処理能力に関係なく閲覧できるようにする。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

旭川医科大学

住所:078-8805 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 開設年:1978年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書153,247冊 職員総数(非常勤を含む):1,560人

回答担当:図書館情報課情報管理係

目的 〔達成状況〕	①その他:本学の研究成果の保存・公開〔アクセス数・ダウンロード数ともに増加している〕 ②活動成果の普及〔アクセス数・ダウンロード数ともに増加している〕 ③広報活動〔アクセス数・ダウンロード数ともに増加している〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:50% ◎課題・工夫点等:学内経費配分を得られるように毎年努力している。また外部資金(国立情報学研究所(以下NIIと記載))からの受託業務に応募し、受託資金を得られるようにしている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員、他部署の者、研究者等専門家 ◆職員のスキル等:システム構築とサーバの管理は、大学の情報処理センターの専門知識を持つ職員が担当。登録するデジタルデータの作成や登録したデータの管理などは、図書館職員が行っている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、その他:外部業者に業務委託し、権利保有者からの許諾を得ている ◆処理状況:その他:権利処理のみの件数、費用などは把握していない ◎課題・工夫点等:他の大学等と情報を共有している。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルリポジトリに関する連携組織に加入している〕 ◎課題・工夫点等:可能な範囲で参加・協力している。
その他 F.A.	本学の特徴を反映したリポジトリを構築している。

【旭川医科大学・提供アーカイブ】

■旭川医科大学学術成果リポジトリAMC○R (1件目/1件中)

公開年:2007年 URL:http://amcor.asahikawa-med.ac.jp 更新頻度:週1回程度

概要	本学研究者の研究成果の保管・公開を行っている。 ◆コンテンツ総容量:9.8GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:1,900件〔論文約1,300件、研究報告書約200件、学位論文の要旨約200件、病院広報資料約100件、その他〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:20,000件/月〔増加している〕 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:大学ホームページのトップと図書館のホームページへ、アクセスのためのバナーを貼ってもらっている。リポジトリ統合検索サイトへのデータハーベストを行っている。
構築	◆システム開発方法:その他:オープンソースを利用 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:その他:NII委託事業の資金 ◆予算獲得のきっかけ:平成18年度NIIの次世代学術コンテンツ基盤構築事業委託事業として採択されたこと ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算、その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員及び外部業者 ◆準拠フォーマット:Junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF, Windows Media Player ◆保存用ファイル:一 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:固定したURLで保管している
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:CiNii, JAIRO

北見工業大学図書館

住所:090-8507 北見市公園町 165 開設年:1960年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 196,000冊 職員総数(非常勤を含む):11人

回答担当:情報図書課目録管理担当

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②広報活動 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:50% ◎課題・工夫点等:現在までのところ,CSI 委託事業に依存する割合が高く,今後の運営に関しては,自機関でまかなっていきけるように努力したい
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員,その他:他の業務と兼任・業者委託 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築経験はなく,運用・更新等は,外部業者に委託している。 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:立ち上げ段階から CSI 事業に採択され,システムの構築・運用を業者に委託してきた一事異動で,担当者が替わり継続の難しさを感じている。
権利処理	◆処理方法:その他:出版社等に対する許諾を業者に委託している。 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している [デジタルリポジトリ連合に加入している]
その他 F.A.	・教員からの協力を得られやすいよう考慮した。 ・オープンアクセス無料で利用できるデータベースにすること

【北見工業大学図書館・提供アーカイブ】

■北見工業大学学術機関リポジトリ 「KIT-R」 (1 件目/1 件中)

公開年:2007年 URL:<http://kitir.lib.kitami-it.ac.jp/> 更新頻度:年数回程度

概要	本学紀要, 本学関係者の学位論文・雑誌掲載論文等 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:1,200件 ◆コンテンツ増加量:100件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:19,000件/月 [コンテンツが増加するにつれ,アクセス数も増加している] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:Google など検索エンジンからアクセスできる。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:その他:CSI委託事業 ◆予算獲得のきっかけ:CSI 委託事業に申請 ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他 ◆運営業務の担い手:ほとんど外部委託
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:業者 ◆準拠フォーマット:Junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明

岩手大学情報メディアセンター図書館

住所:020-8550 盛岡市上田 3 丁目 18-8 開設年:1949 年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 862,000 冊 職員総数(非常勤を含む):22 人

回答担当:研究交流部情報メディア課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔アクセスの伸びから概ね達成〕 ②二次利用・貸出〔ダウンロード数の伸びから概ね達成〕 ③新しい表現〔これまでは目録の提供に留まっていたが、本文の提供を行うことで達成〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:これまで図書館システムを担当(兼務)していたものが,学内の情報処理センター教員などのサポートをいただきながら,運用・更新を行っている。一括発注できる資料はデジタル化を外注している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣,その他:大学図書館等で開催する研修会などに職員を派遣 ◎課題・工夫点等:デジタル化や登録専任が短期雇用で,特に人材として育成段階にないことが課題。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:デジタル化したい資料の記載あるデータや図表には,他の資料からの引用もあり,その権利問題への対処が課題。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔大学図書館を中心として構成されている DRF に加入している〕 ◎課題・工夫点等:今後の担当者育成も考え,デジタルアーカイブのみということではないが,地域の大学機関の図書館と連携して,コミュニティサイトを構築した。
その他 F.A.	—

【岩手大学情報メディアセンター図書館・提供アーカイブ】

■岩手大学リポジトリ (1 件目/1 件中)

公開年:2007 年 URL:<http://ir.iwate-u.ac.jp/Dspace/> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	大学紀要, 学術雑誌掲載論文, 学位論文, 古文書等 ◆コンテンツ総容量:5.5GB ◆コンテンツ総件数:3,086 件 ※文書 1 束を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:1,000 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:20,000 件/月〔今年になって多い月では 30,000 件を超している〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:大学の Top ページにリンクを設置。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:大学の事業として認められたことによる ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:51~100 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:Junii2(ダブリン・コア) ◆利用・提供用ファイル:JPEG, PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:磁気テープやハードディスク等複数種類の媒体への保存を心がけている ◎課題・工夫点等:見やすいデジタルコンテンツの提供とネットワーク利用でのバランスが課題。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO

福島大学附属図書館

住所:960-1293 福島市金谷川1 開設年:1949年 設置母体:国立
 所蔵資料:蔵書833,420冊 職員総数(非常勤を含む):16人
 回答担当:学術情報グループ

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②検索性の向上 ③二次利用・貸出
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独学で学習して今では全体を管理・運用している。 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理 他機関との 連携	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [1,139件/—] ◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【福島大学附属図書館・提供アーカイブ】

■福島大学学術機関リポジトリ FUKURO_フクロウ_ (1件目/3件中)

公開年:2008年 URL:<http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/ir/> 更新頻度:週1回程度

概要	学術論文, 紀要論文, 科学研究費補助金, 研究成果報告書 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:2,500件〔学術雑誌論文1件, 研究報告書19件, 紀要論文2,480件〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:13,000件/月〔増加傾向にある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金, ◆予算獲得のきっかけ:国立情報学研究所の学術機関リポジトリ構築事業として ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:NIIの基本資料 ◆メタデータ作成者:図書館 ◆準拠フォーマット:JuiNii ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:PDF ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:不明

■科学研究費補助金成果報告書全文データベース (2件目/3件中)

公開年:2004年 URL:<http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/kakenhi/kakenDB.html>

更新頻度:その他(現在は福島大学学術機関リポジトリに統合)

概要	上記報告書の全文をPDFで公開(平成19年度よりリポジトリに一部統合) ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:31件〔報告書31冊〕 ◆コンテンツ増加量:2~3件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:Webサーバからのhtmlによる公開のためシステム不要 ◆構築予算〔理由〕:0円〔上記の理由に同じ〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔既存の設備を使用して電子化したため〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔リポジトリに統合したため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:—(メタデータ作成なし) ◆準拠フォーマット:— ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:未使用 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■福島大学研究年報 (3 件目/3 件中)

公開年:2006 年 URL:http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/nenpo/ 更新頻度:年 1 回程度

概要	上記年報の全文を PDF で公開 (平成 19 年度よりリポジトリに論文のみ統合) ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:4 件 [紀要 4 号] ◆コンテンツ増加量:1 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:Web サーバから html による公開のためシステム不要 ◆構築予算[理由]:0 円 [上記の理由に同じ] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [紀要印刷業者に PDF 化も依頼]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [Web サーバから html による公開のためシステム不要] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:— (メタデータ作成なし) ◆準拠フォーマット:— ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:未使用 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

茨城大学図書館

住所:310-8512 水戸市文京2丁目1-1 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書970,000冊 職員総数(非常勤を含む):23人

回答担当:学術情報課電子情報係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔学外へ広く発信することで、研究活動等への認知度が深まった〕 ②調査研究用〔インターネットでの利用が可能になったことにより、より利用しやすくなった〕 ③検索性の向上〔簡単な操作で、効率的な情報の収集が可能になった〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:現状としては、デジタルアーカイブ運営のための特段の予算措置は行っていない。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:情報処理に関して、基礎的な知識と技能を有している。主にコンテンツの作成・登録と機器の管理等を担当している。 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:人事異動に伴う知識・技能の継承断絶に対する対応が必要なので、詳細な引継資料を準備して対応している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:その他:質問に該当しない ◎課題・工夫点等: ・現状では、コンテンツの中心は学内発行の紀要や報告書、あるいは古文献等であるため、費用が発生する権利処理は行っていない。学術誌等に掲載された文献に関しては、各団体が定めた方針に従い、手続なしで掲載可能であればリポジトリに収録している。 ・今後、本学教員が学術誌等に投稿した論文を、できるだけリポジトリに収録していくことが重要だと考えている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔メタデータのハーベスティングと横断検索〕 ◎課題・工夫点等: ・国立情報学研究所と連携して、機関リポジトリのメタデータを横断検索に供している(JAIROやCiNiiなど)。 ・外部機関と連携することにより、学外への公開度がより高まっていると考えられる。
その他 F.A.	—

【茨城大学図書館・提供アーカイブ】

■江戸後期史学関係総合データベース (1件目/2件中)

公開年:2001年 URL:<http://epic.lib.ibaraki.ac.jp/> 更新頻度:その他(必要に応じ適宜)

概要	茨城大学図書館所蔵貴重資料「菅文庫」の中から、江戸後期の史学書を中心に画像データベース化したもの ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:181件 ◆コンテンツ増加量:0件(単一のプロジェクトで制作したアーカイブであるため、コンテンツ数の増減は殆ど無い)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成12年度科学研究費補助金, 平成14年度科学研究費補助金の交付 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔資料の電子化など〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔維持に特段の予算措置が必要ないため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学部所属の教員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, DjVu ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:デジタル化された資料の安定的な保存(バックアップ等の確保)。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■茨城大学学術情報リポジトリ 「ROSE リポジトリいばらき」 (2 件目/2 件中)

公開年:2008 年 URL:http://ir.lib.ibaraki.ac.jp/ 更新頻度:年数回程度

概要	茨城大学で刊行している紀要や, 研究報告書等を中心に収録している。 ◆コンテンツ総容量:3.5GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:848 件 [紀要論文:71%, 研究報告書:17%, その他 12%] ◆コンテンツ増加量:400 件
利用者	◆ウェブアクセス数:2,450 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館 Web サイトトップページに, 目立つように入力を配置。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Dspace ◆構築予算:不明(図書館システムおよび学内情報システムに組み込んでの一括調達のため) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:学内情報システムおよび図書館システムの更新 ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [基幹システムの構築] ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [コンテンツの電子化を自前で行っているため]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [現行の運用上, 特段の予算措置が必要ないため] ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [システムの保守および機器的なサポート]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:Dublin Core ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:未使用 ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:デジタル化された資料の安定的な保存 (バックアップの確保)。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO, CiNii

筑波技術大学附属図書館

住所:305-8520 つくば市天久保 4 丁目 3-15 開設年:1990 年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 77,000 冊 職員総数(非常勤を含む):17 人

回答担当:聴覚障害系支援課図書係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔本学刊行物「筑波技術大学テクノレポート」の論文登録 100%達成〕 ②検索性の向上〔機関リポジトリ構築により、上記資料等への一般からのアクセスが可能となった〕 ③—
所蔵資料の 収録率	不明(図書は冊数だが、雑誌の数の把握はタイトル数であり、機関リポジトリは論文数となるため算出は困難)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.0005% ◆外部委託費が占める割合:0.0003% ◎課題・工夫点等:本学刊行物「筑波技術大学テクノレポート」の刊行及び配布を廃止し、その経費を機関リポジトリ運営費に充てている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員、知識の少ない職員、非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:1名は、図書館のシステム及びデジタルアーカイブ関連業務の経験があり、ほか3名は図書館業務の経験者ではあるが、リポジトリ関連業務は未経験である。また、この4名は図書館の全職員数であり、兼任である ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:少人数の職員が兼任しているので、特にとりまとめの職員の負担は大きい。登録などの作業については、短期雇用職員が行っている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:その他:権利処理が必要なものについての処理は3ヶ月ほど前から始めたばかりである ◎課題・工夫点等:筑波大学で管理しているデータベース「Society Copyright Policies in Japan」で確認し、そこに掲載されていない機関には直接、電話、メール等で確認をとっているが、学会誌の事務局は大学の研究室であることが多く、連絡が取れないことしばしばで非常に難航している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	本学は聴覚障害及び視覚障害のある学生が学ぶ大学であり、特に視覚障害者が読み取り用ソフトを利用してコンテンツ閲覧をすることを想定し、透明テキストの整備等に努めている。

【筑波技術大学附属図書館・提供アーカイブ】

■筑波技術大学機関リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/repo/Dspace/> 更新頻度:その他(不定期)

概要	平成21年2月に公開を開始したばかりなので、現在は本学刊行物「筑波技術大学テクノレポート」、 「NTUT Education of Disabilities」、学生GP報告書、科学研究費補助金報告書の登録のみとなっているが、 今後は、本学の特色を生かした、聴覚及び視覚障害者支援に関する研究、授業方法などに関する資料を収集・公開していく予定である。 ◆コンテンツ総容量:8GB ◆コンテンツ総件数:640件 ◆コンテンツ増加量:(H21.2月公開開始のため回答できず)
利用者	◆ウェブアクセス数:27,880件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:視覚障害者利用を想定した、読み取りソフトのための透明テキストの整備。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他:CSI事業補助金 ◆予算獲得のきっかけ:H20-21CSI事業に提案書を提出し、採択されたことと、本学刊行物の冊子による出版と配布を廃止したこと ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔業者に構築を委託〕 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:書籍「Acrobat+PDFビジネス徹底活用」(翔泳社)、「Excel全機能bible」(技術評論社)などのマニュアル本 ◆メタデータ作成者:短期雇用職員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

宇都宮大学附属図書館

住所:321-8505 宇都宮市峰町 350 開設年:1949年 設置母体:国立
 所蔵資料:蔵書 600,000 冊/所蔵品 2,300 点 職員総数(非常勤を含む):20 人
 回答担当:学術情報課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔運営開始後1年半でまだ特筆すべきことはない〕 ②資料の保存・管理〔運営開始後1年半でまだ特筆すべきことはない〕 ③検索性の向上〔運営開始後1年半でまだ特筆すべきことはない〕
所蔵資料の 収録率	0.6%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:特になし(現在は特段の予算はなく一的な入力のみ)
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:情報処理技術者の資格を持つ図書館職員が主に運営している。立場は雑誌情報係長。 ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:雑誌掲載論文については,本学教員のものでも権利問題から思うようにコンテンツを収集できない。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔国立情報学研究所・学術機関リポジトリ構築連携支援事業による〕
その他 F.A.	—

【宇都宮大学附属図書館・提供アーカイブ】

■宇都宮大学学術情報リポジトリ (UU-AIR) (1 件目/1 件中)

公開年:2008年 URL:<http://uuair.lib.utsunomiya-u.ac.jp/> 更新頻度:その他(その都度)

概要	①本学の紀要・研究報告・学位論文等 ②古文書 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:3,865 件〔紀要論文 527 件, 古文書その他 3,338 件〕 ◆コンテンツ増加量:400 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:16,590 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace (株)アグレックス ◆構築予算:301~500 万円 ◆予算の出所:自前の予算, 支援団体の補助金, ◆予算獲得のきっかけ:国立情報学研究所の学術機関リポジトリ構築連携支援事業による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔古文書の画像電子化〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:非常勤職員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO(国立情報学研究所)

群馬大学総合情報メディアセンター図書館本館

住所:371-8510 前橋市荒牧町4丁目2 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書335,000冊 職員総数(非常勤を含む):15人

回答担当:学術情報サービス係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔アクセス数の増加〕 ②検索性の向上〔他機関との連携により、検索がしやすくなった〕 ③資料の保存・管理〔劣化の進んでいる特殊資料のデジタル化ができた〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:より充実した運営のために継続的な予算措置が必要だが、現在のところ実現していない。機関内での認知活動を行うために、論文へのアクセス統計やランキングなどを伝えることで、継続的な協力を得るよう努めている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないので、既存のシステム(DSpace)を導入後は独学で学習しメタデータ作成、コンテンツ登録、広報等を行っている。 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:利用者サービス係がリポジトリ運用業務を運用している。図書館司書だけではシステム的なことが充分に行われていない一員不足のうえ、継続的な予算措置がない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:その他 ◎課題・工夫点等:学会への許諾等、原則は著者本人に手続きをお願いしている。出版社版のファイルの登録を認めていないものは著者最終版ファイルの登録となるが、時間がたつと最終稿を保存していない場合があるため登録ができていないのが現状である。著作権処理を含めた、最終原稿の保存等広報を進めていく必要があると感じている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔NIIのCiNiiとの連携〕 ◎課題・工夫点等:他機関との連携を充実するためには、メタデータで外部に提供することも予想して、リポジトリで保持するメタデータの種類や資料種別などを明確にしておく必要がある。
その他 F.A.	・リポジトリは一部局ではなく、大学が運営するものであることを大学の運営会議、役員会で説明し、構築に対する予算的措置を含め協力を要請した。 ・登録可能なコンテンツを確保するため、学内コンテンツ作成 ・発行部署の責任者に、館長から直接、発行の都度のコンテンツデータ提供を依頼した。 ・各学部の教授会等で本学リポジトリの概要等を説明し、リポジトリの広報、コンテンツの提供など協力要請も行った。

【群馬大学総合情報メディアセンター図書館本館・提供アーカイブ】

■群馬大学学術情報リポジトリ GAIR (1件目/1件中)

公開年:2007年 URL:<http://gair.media.gunma-u.ac.jp> 更新頻度:週1回程度

概要	・学内紀要が最も多いが、北関東医学会より、学会誌発行時に電子ファイルデータが提供され登録している。 ・図書館特殊コレクションから古文書を登録している。 ◆コンテンツ総容量:26GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:3,788件〔学術論文 3,264件,学位論文 30件,会議録・講演資料 7件,教材 2件,その他 485件〕 ◆コンテンツ増加量:500件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:230,000件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:・HPの見やすいところに配置 ・センターNews(機関誌)でアーカイブについての広報記事を掲載 ・図書館ガイドランス等で受講者に広報
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他:NII機関リポジトリ構築連携支援委託事業費 ◆予算獲得のきっかけ:NIIの「平成18年度委託事業」に採択された ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔メタデータ作成,コンテンツスキャン〕 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館司書 ◆準拠フォーマット:Junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:学内の大学情報データベースとの連携を計画しているが、コンテンツを構築している係には技術面で熟知している者がいないため作業が遅れている。システムの係との連携の強化が必要である。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:NII CiNii

東京学芸大学附属図書館

住所:184-8501 小金井市貫井北町4丁目1-1 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書885,784冊 職員総数(非常勤を含む):32人

回答担当:教育研究支援部情報基盤課学術ポータル係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔大学紀要、附属学校・園紀要等を継続的に公開〕 ②資料の保存・管理〔往来物・双六等の教育史資料を公開している〕 ③検索性の向上〔一部の資料について、教育主題情報より検索可能〕
所蔵資料の 収録率	0.3%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.03% ◆外部委託費が占める割合:60% ◎課題・工夫点等:外部委託事業に応募するとともに、学内予算を継続的に要求している。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:図書館業務・情報処理業務のスキルを持った担当者がホームページ運営、図書館システム管理とともに担当している ◆人材育成の取組:その他:担当者の独習、他機関担当者との情報交換
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、その他:著作権切れのものもののデジタル化、許諾作業の一部をデジタルアーカイブ業者に依頼 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔800件/約720,000円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔国立教育系大学図書館協議会など〕 ◎課題・工夫点等:国立教育系大学図書館協議会で教育主題情報の記述について協議している。
その他 F.A.	アーカイブを教育情報ポータルの中に位置づけ、教育分野の情報提供に力を入れている。

【東京学芸大学附属図書館・提供アーカイブ】

■東京学芸大学リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2006年 URL:<http://ir.u-gakugei.ac.jp/> 更新頻度:その他(データが収集でき次第随時)

概要	・教育研究成果(紀要等学内刊行物、附属学校・園紀要、報告書、教員著作論文) ・教育史関係資料(往来物・教科書・双六) ◆コンテンツ総容量:100GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:4,800件〔紀要等論文:約2,400件、往来物・教科書等教育史資料:約2,400件〕 ◆コンテンツ増加量:1,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:11,000件/月〔コンテンツの増加にともない、アクセス数も増加している〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:リポジトリシステムにより検索エンジンなどからのアクセスも可能としている。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:NALIS-R ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:その他:委託事業を受託 ◆予算獲得のきっかけ:国立情報学研究所の委託事業を受けた ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔パッケージの導入、旧システムよりのデータ移行〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔導入当初は旧システムのデータを移行した〕
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算、その他 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔著作権処理、電子化・システム改修〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員またはアーカイブ業者 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, GIF ◆保存用ファイル:TIFF, PhotoCD ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:HDに複数コピーを作成
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIR0, OAIster

お茶の水女子大学

住所:112-8610 文京区大塚2丁目1-1 開設年:1949年 設置母体:国立
 所蔵資料:蔵書620,000冊/所蔵品5,000点 職員総数(非常勤を含む):1,303人
 回答担当:図書・情報チーム

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔機関リポジトリ (TeaPot) が、世界のリポジトリ・ランキングにて、国内3位となった〕 ②資料の保存・管理〔閲覧希望に対し、現物を見せる必要がなくなったため資料の管理が楽になった〕 ③二次利用・貸出〔外部からの歴史資料の利用申請が増加した〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.12% ◆外部委託費が占める割合:65% ◎課題・工夫点等:運営予算は外部資金の獲得により賄っている。そのため、今後の予算確保が課題である。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:学芸員や大学で史学を専門とした人材で、歴史資料に関するデジタルアーカイブの運営全般を担当している。機関リポジトリについては、図書館職員が管理を担当している ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等:図書・情報チームのプロジェクトの1つとして機関リポジトリのグループを編成した。職員19名中7名(常勤+非常勤)が、このグループに参加し、コンテンツの充実を図っている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、権利者との信頼関係 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:紀要等の電子化・公開に関しては、編集担当の教員と連携して、他の著作権処理の例などをもとに権利問題を処理している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	大学全体の年度計画に「機関リポジトリ (TeaPot) の充実」を盛り込んだり、学内の他部署との協力など、全学的協力体制のもとで構築を進めている。

【お茶の水女子大学・提供アーカイブ】

■お茶の水女子大学デジタルアーカイブズ ～先駆的女性研究者データベース～ (1件目/2件中)

公開年:2009年 URL:<http://archives.cf.ocha.ac.jp/> 更新頻度:年数程度

概要	お茶の水女子大学がこれまで輩出した数多くの優れた女性研究者の足跡を示す資料や、本学が所蔵するわが国の女子教育を語る上で欠かせない大学資料をデジタル化し公開 ◆コンテンツ総容量:0.9GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:2,400件〔卒業写真,美術資料等の写真データ1,650件 校報,学報のPDFデータ750件〕 ◆コンテンツ増加量:2,400件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:データベース等を使用せず、静的なWebサイトで構築した ◆構築予算〔理由〕:0円〔既存のサーバを利用したため〕 ◆予算獲得のきっかけ:平成19年度特別教育研究経費として「女性が進出できる新しい研究分野の開拓」を行うための予算がついたため ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:史学を専攻した職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, MP3, MLD, MMF ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■TeaPot お茶の水女子大学教育・研究成果コレクション (2件目/2件中)

公開年:2007年 URL:<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	お茶の水女子大学における教育・研究成果である、学術雑誌論文、紀要論文、学会発表資料、研究報告書、講義資料、画像資料等を公開 ◆コンテンツ総容量:9GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:19,300件〔論文,雑誌記事,書籍等の文書データ:19,000件 舞踊公演の静止画,動画データ:300件〕 ◆コンテンツ増加量:7,500件
利用者	◆ウェブアクセス数:16,700件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成18年度,国立情報学研究所の委託事業「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」として ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:機関リポジトリ担当の図書館職員 ◆準拠フォーマット:Junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF, SWF, WMV ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:国立情報学研究所 JAIRO

一橋大学	
住所:186-8602 国立市中2丁目1 開設年:1875年 設置母体:国立 所蔵資料:蔵書2,552,202冊 職員総数(常勤のみ):578人 回答担当:学術・図書部学術システム課	
目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価報告書等でも取り上げられた〕 ②検索性の向上〔多種のサービスプロバイダーにデータ提供し、アクセス統計数値も増加している〕 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.1% ◆外部委託費が占める割合:74% ◎課題・工夫点等:外部資金を獲得するため、各種事業に応募をしている。今年度は運営費交付金から特別教育研究経費を得ているほか、3つの外部資金を獲得した。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員、研究者等専門家、非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:図書館職員(システム、目録、貴重書等の経験をもつ人材複数名が協力している)、専門助手(日本史・西洋史の研究者) ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:大学図書館界で主催される研修やセミナーに積極的に参加している。システムに強い人材の育成を念頭においている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔900件/(人件費のみ)〕 ◎課題・工夫点等:著者および出版社の権利を確認しつつ処理を進めているが、手続きが煩雑である。歴史資料についても、公開の基準を検討しながら、権利処理をすすめている。
他機関との 連携	◆連携状況[連携内容]:連携している〔Digital Repository Federation に参加している〕 ◎課題・工夫点等:他大学図書館との情報交換を行うようにしている。
その他 F.A.	学内での認知度を高める工夫をしてきた。教員との積極的なコミュニケーションを図るとともに、事務職員等の大学スタッフからの理解を得るように努めている。

【一橋大学・提供アーカイブ】

■HERMES-IR (一橋大学機関リポジトリ) (1件目/1件中)	
公開年:2007年 URL: http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/ir/index.html 更新頻度:週1回程度	
概要	一橋大学の研究成果(雑誌論文・学位論文・紀要等)と一橋大学附属図書館等の所蔵コレクションを収録している。それぞれのデータベースで管理をしている。 ◆コンテンツ総容量:42GB ◆コンテンツ総件数(内訳):20,622件〔学術雑誌論文624件、学位論文52件、紀要論文12,539件、会議発表論文9件、会議発表用資料37件、図書294件、テクニカルレポート1,747件、研究報告書163件、一般雑誌記事61件、その他5,096件〕 ◆コンテンツ増加量:1,359件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:41,500件/月〔増加傾向にある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:大学トップページバナー等、ホームページの見やすいところに配置している。OAI-PMHに対応し、学外のサービスプロバイダーにデータ提供している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算、その他:国立情報学研究所からの委託費 ◆予算獲得のきっかけ:国立情報学研究所次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業(CSI委託事業)に応募し、採択された ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔システムの構築は外部委託した〕 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔前身のシステムからのデータコンバート〕
運営	◆年間運営予算:1001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金、その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:図書系職員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, DjVu ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:容量が大きく、配信用サーバには搭載しない保存用TIFFの管理
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, IRDB, OAIster, RePEc

横浜国立大学附属図書館

住所:240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 1,390,000冊 職員総数(非常勤を含む):27人

回答担当:図書館・情報部図書館情報課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔成果を公開するための認識が高まった〕 ②資料の保存・管理〔入手しにくい資料については利便性が高まった〕 ③広報活動〔ダウンロード回数が増えている〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:55% ◎課題・工夫点等:恒常的な学内予算の確保が困難
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:システム構築業者と保守契約を結び、適宜問合せながら運用している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:構築当初に職員を研修に派遣した。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [1,000件/—] ◎課題・工夫点等: ・博論は著者の在学中に許諾が取れるようにした。 ・権利が出版社に移転しているときは、アーカイブ可の出版社から刊行された論文を中心に許諾を取る。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔NIIの学術機関リポジトリ構築連携支援事業に参加〕 ◎課題・工夫点等:NII関連のイベントに積極的に参加している。
その他 F.A.	担当部署を変更し、無理のない運営を図る。

【横浜国立大学附属図書館・提供アーカイブ】

■横浜国立大学学術情報リポジトリ (1件目/2件中)

公開年:2007年 URL:<http://kamome.lib.ynu.ac.jp/> 更新頻度:月1回程度

概要	所属する研究者による学術雑誌論文や、博士論文、本学から刊行されている紀要等を公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:3,900件〔学術雑誌論文 512, 紀要論文 3,130, 博士論文 159, ほか〕 ◆コンテンツ増加量:1,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:35,000件/月〔増加傾向にある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:多言語対応している。OAI-PMHでのハーベストに対応している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:NIIの学術機関リポジトリ構築連携支援事業による ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:JnNii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF, XDW ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:定期的にバックアップをとる
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO

■横浜国立大学附属図書館画像データベース (2件目/2件中)

公開年:1999年 URL:<http://www2.lib.ynu.ac.jp/> 更新頻度:その他(更新なし)

概要	ミラボー伯コレクションとフランス官報の全文公開。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:270件〔ミラボー伯コレクション 185件, フランス官報 85件〕 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:多言語対応している。
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:老朽化したサーバからの移転を計画中 ◎課題・工夫点等:現サーバではページ送り機能を実装している。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

総合研究大学院大学

住所:240-0193 三浦郡葉山町 (湘南国際村) 開設年:1988年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書34,646冊 職員総数(非常勤を含む):56人

回答担当:学務課図書係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔学位論文など、部分的に達成できている〕 ②検索性の向上〔詳細な検索が可能となるよう、検索システムが用意されている〕 ③広報活動〔不明〕
所蔵資料の 収録率	4%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.04% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員,研究者等専門家 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが,教員や前任者の指示に従ってデータ作成などの業務を行っている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:専任の職員があてられておらず,非常勤職員が担当しているため,専門知識の習得や,職員の退職による担当者の交代の際の業務の継承などが課題となっている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔100件/0円〕 ◎課題・工夫点等:過去の許諾書と現在の許諾書の書式が異なるため,許諾の範囲が時期によって異なっていること。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【総合研究大学院大学・提供アーカイブ】

■ACI SOKENDAI (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://aci.soken.ac.jp/index.html> 更新頻度:週1回程度

概要	ACI Sokendai (Academic Contents Initiative Sokendai) は総合研究大学院大学 (以下,総研大) が組織的に構築しているデータベース (たとえば,大学創立当初より作成している博士論文全文データベースなど) や,研究者が個人やグループで作成した研究資料や研究成果をデータベースとして公開するためのプラットフォームである。すなわち,大学が保有するさまざまな学術情報を公開し,研究者だけでなく広く社会に提供していくための窓口が ACI Sokendai ということができる。いまや大学の保有するさまざまな「学術知」を社会に還元していくことは,大学の責務として広く認識されており,総研大もこれらの「学術知」をデータベースとして公開することによって,社会への貢献を高めていくことをめざしている。(HPより) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:58,959件〔学位論文1,396件,貝塚遺跡5,620件,貝塚文献2,652件,貝属性辞書5,141件,考古学用語3,731件,鶏コレクション1,407件,ブックカバー2451件,装丁・装画家4件,絵はがき228件,HRMS18,146件,小松左京コーパス2,022件,小松左京著作目録5,793件,梅棹忠夫著作目録6,365件,CH論文1,267件,CH研究会107件,石毛直道著作目録2,629件〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:1,700件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:Fujitsu Shunsaku ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:PDF, JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:Dnavi

金沢大学附属図書館

住所:920-1165 金沢市角間町 開設年:1945年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書1,760,000冊 職員総数(非常勤を含む):38人

回答担当:情報部情報企画課情報企画係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔利用実績 約73万件(平成20年度)〕 ②資料の保存・管理〔約1万6千件のデータを保存(平成21年10月現在)〕 ③収蔵スペース縮小〔重複雑誌の一部廃棄を行った〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:2.5% ◆外部委託費が占める割合:1.4% ◎課題・工夫点等:運営費の削減が続く中、永続的な予算確保が出来るかどうかが課題である。
人員	◆運営担当者:新規採用,知識の多い職員,他部署の者 ◆職員のスキル等:一般の図書館員が,必要に応じて独学・セミナー参加等で学習している。主に,システム管理,広報,コンテンツ収集・登録を行っている ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立,セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:システム系の専門的知識が必要なため,育成に苦慮している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:機関内での発行物については,一括許諾を得られるよう働きかけをし,一定の成果をあげている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルリポジトリ連合 DRFに参加〕
その他 F.A.	—

【金沢大学附属図書館・提供アーカイブ】

■金沢大学学術情報リポジトリ KURA (1件目/1件中)

公開年:2006年 URL:<http://DSpace.lib.kanazawa-u.ac.jp/DSpace/> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	大学所属の研究者等により生産された学術論文, 紀要論文を多く収集している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:16,000件〔論文・雑誌記事15,500件 広報資料500件 その他のコンテンツはごく少量である〕 ◆コンテンツ増加量:5,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:72,800件/月〔公開当初は月数千件であったが,平成21年度は月10数万件の 利用がある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:紀要別の閲覧サイトを構築している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:国立情報学研究所のCSI(最先端学術情報基盤)委託事業として ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔サーバ構築,プログラムのインストールなど〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システム改修〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, MO ◆長期保存のための取組:定期的にバックアップを取っている。PDF形式にすることで,OSに依存しないデータ保存ができる
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH, その他:junii2 ◆連携システム:JAIRO, 金沢大学教員総覧

北陸先端科学技術大学院大学

住所:923-1292 能美市旭台 1-1 開設年:1991年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 130,000 冊 職員総数(非常勤を含む):437人

回答担当:学術情報サービス室学術管理係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔学外からのアクセス,ダウンロードが順調に増加している〕 ②検索性の向上〔タイトル,著者名,キーワード等による検索が可能である〕 ③調査研究用〔学内についてもアクセス,ダウンロードが順調に増加している〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.04% ◆外部委託費が占める割合:97.93% ◎課題・工夫点等:現状は予算の大部分を国立情報学研究所からの委託事業費によっている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:(スキル・経験)前職がSEで,デジタルアーカイブ構築の経験は無いが,全体を管理する立場としてシステム構築,カスタマイズ,保守等を外部業者に発注している。(担当)システムの管理,コンテンツの登録,著作権処理等 ◆人材育成の取組:その他:リポジトリに関するワークショップ ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ運営に関しては,情報処理スキルを持つ職員1名にほぼ頼り切っている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔3,500件/0円〕 ◎課題・工夫点等:学術雑誌論文の利用許諾については,出版社・学会に直接メール等で許諾確認を行っている。効率的に作業を行うため,基本的には年に1回,教員の論文を出版社ごとに分類し,まとめて許諾確認を行うことにしている。
他機関との 連携	◆連携状況[連携内容]:連携している〔デジタルリポジトリ連合に参加〕 ◎課題・工夫点等:効率的に情報発信するため,国立情報学研究所の学術機関リポジトリポータル JAIRO へのデータ提供を行い,CiNii-IR 連携にも参加している。
その他 F.A.	担当者の作業を軽減するようシステムのカスタマイズを進めることにより,継続的に安定した運用を行える環境を整備する。

【北陸先端科学技術大学院大学・提供アーカイブ】

■ J A I S T 学術研究成果リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2007年 URL:<https://DSpace.jaist.ac.jp> 更新頻度:月1回程度

概要	学術雑誌論文,学位論文を重点的に収集している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:5,100件〔会議雑誌論文2,600件,学位論文1,100件,学術雑誌論文900件,その他〕※1論文を1件と数える ◆コンテンツ増加量:2,500件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:23,000件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・学術機関リポジトリポータル JAIRO へのメタデータ提供。 ・定期的に Google サイトマップの登録を行っている。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他:国立情報学研究所からの委託事業費 ◆予算獲得のきっかけ:事業の公募に申請し採択された ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔サーバ構築,ソフトウェアカスタマイズ〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員,情報サービス業者 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO

静岡大学附属図書館

住所:422-8529 静岡市駿河区大谷 836 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 1,200,000冊 職員総数(非常勤を含む):25人

回答担当:図書館チーム電子情報担当

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔未だ途上。企業から掲載資料についての問い合わせ,などのケースはあり〕 ②検索性の向上〔未だ途上〕 ③広報活動〔未だ途上〕
所蔵資料の 収録率	0%
運営予算	◆年間予算に占める割合:2.7% ◆外部委託費が占める割合:60% ◎課題・工夫点等:外部資金の導入(国立情報学研究所最先端学術情報基盤(CSI)構築推進事業)
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが,独学で学習してデータ・コンテンツ作成やシステム更新等運用工程の一部が担える ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:機関内で独自の人材育成体系を確立できるような余力のないことが課題である。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等: ・一部学部の研究報奨制度で申請必須化 ・紀要編集委員会との規約への盛り込みなどの交渉
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔有志による連携組織(DRF)への加入〕
その他 F.A.	—

【静岡大学附属図書館・提供アーカイブ】

■静岡大学学術リポジトリ(SURE:Shizuoka University Repository) (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://ir.lib.shizuoka.ac.jp/> 更新頻度:週1回程度

概要	学術論文を中心に,全コンテンツ全文掲載 ◆コンテンツ総容量:10GB ◆コンテンツ総件数:3,400件 ◆コンテンツ増加量:1,500件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:15,000件/月〔全文ダウンロードベースで上記の数字だが,コンテンツ数の増加に伴い上昇中。ただし,大学休業期間中は2割ほど落ち込む〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:大学トップページへの案内表示
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他:外部資金 ◆予算獲得のきっかけ:「国立情報学研究所最先端学術情報基盤(CSI)構築推進事業」採択による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔初期構築全般〕 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算,その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:Jii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD,磁気テープ ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:Jii, KAKEN, 静大 OPAC

愛知教育大学附属図書館

住所:448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書692,801冊 職員総数(非常勤を含む):23人

回答担当:情報図書課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔紙媒体のみでの公開だったもの、図書館にも備えつけられていなかったものが広くアクセスされるようになった〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	0.003%(2000÷69万)
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:情報システムについては独学で身につけた知識のみである。リポジトリ全般について担当するが、業者、他大学担当者、学内関連部署に頼りながら運用している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等: ・大学発行の紀要など論文タイトルの把握できるものについては、担当者が文献リストを作成し、著者は書類にチェックするだけで意思表示できるようにして権利処理を行っている。 ・発行団体がリポジトリの意義を理解し、投稿規定にリポジトリ掲載を明記してくれた例もある。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔アクセスログの分析に他大学開発のシステム ROAT を使わせていただくこととなった〕
その他 F.A.	・コンテンツ提供者である教員に、毎月アクセス状況の報告メールを送信し、提供へのモチベーションを高めるようにしている。 ・登録件数2000件突破を機会に教員インタビューを行い記事を掲載するなど広報活動を行っている。

【愛知教育大学附属図書館・提供アーカイブ】

■愛知教育大学学術情報リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://repository.aichi-edu.ac.jp/> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	本学で生産された学術成果の全文を公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:2,000件 ◆コンテンツ増加量:2,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:13,565件(ROATにより巡回アクセスを排除した値。2009年11月の実績)/月 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・本学の研究者情報を公開する「研究者総覧」と相互リンクしている。 ・PDF作成時にOCR情報を付与し、論文中の語もGoogle等で検索可能としている。 ・メタデータに教育系大学特有のキーワードを付与している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算, その他:NIIのCSI事業 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システム導入・設定〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔雑誌作成時に業者がPDF納品したものを使用。その他は自館のスキナーで作成〕
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システム保守〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:JuiNii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO, CiNii(NII), 教育系サブジェクトリポジトリ(東京学芸大学), 愛知教育大学研究者総覧

名古屋工業大学附属図書館

住所:466-8555 名古屋市昭和区御器所町 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 464,000 冊 職員総数(非常勤を含む):22 人

回答担当:学術情報チーム電子情報担当

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔運用開始間もないが、アクセス数は多い〕 ②広報活動〔運用開始間もないが、アクセス数は多い〕 ③検索性の向上〔Google 等から全文検索が可能となった〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:現状は、主に外部資金を活用している。今後継続的な運用を行うため、安定的に予算を確保したい。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブの経験はないが、レファレンス・目録等の経験がある。運営については企画・立案・管理を中心に担当し、他実務は外注等で対応している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブを専門で行う人材を確保することは難しいため、業務の一部を外注により対応している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔300件/—〕 ◎課題・工夫点等:登録論文は全て許諾を得ているが、紀要等で共著者が多い場合、許諾を得ることが困難であり、課題となった。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:CSI 委託事業参加館との情報交換を行っている。
その他 F.A.	最新の論文を継続的に登録していくため、博士論文については担当部局と協力し、コンテンツ収集の体制を整備した。今後は雑誌論文を収集するため、研究者データベースとの連携を予定している。

【名古屋工業大学附属図書館・提供アーカイブ】

■名古屋工業大学学術機関リポジトリ (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:<http://repo.lib.nitech.ac.jp/> 更新頻度:月 1 回程度

概要	名古屋工業大学で生産された学術情報を電子的に収集・保存・発信する。 ◆コンテンツ総容量:2.5GB ◆コンテンツ総件数:227 件 ◆コンテンツ増加量:100 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:1,500 件/月〔増加傾向(前年平均 1,000 件程度)〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:・多言語対応 ・JAIRO 等とのシステム間連携
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Nalis-R ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:平成 19?21 年度 CSI 委託事業として ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔ハードウェア・ソフトウェア〕 ◆コンテンツ作成費:51~100 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算, その他:CSI 委託事業 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:DRF メーリングリスト ◆メタデータ作成者:司書 ◆準拠フォーマット:Junii2, OAI_DC ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:別サーバでバックアップをとっているが、計画等は特になし
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO

大阪大学附属図書館

住所:560-0043 豊中市待兼山町1-4 開設年:1931年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書3,920,000冊 職員総数(非常勤を含む):142人

回答担当:図書館企画課企画係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔リポジトリの公開,利用〕 ②資料の保存・管理〔貴重資料の利用と保存の両立〕 ③調査研究用〔リポジトリの公開,利用〕
所蔵資料の 収録率	0.02%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:リポジトリ構築に関する予算がNIIの配分に依存しており,自機関からの配分がない。運営予算を確保する必要がある。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独学でシステム構築の知識を得た職員が担当している ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:後継者育成が大きな課題である。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔1,300件/700,000円〕 ◎課題・工夫点等:可能なものから徐々に権利処理を拡大していく。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔DRFに加盟〕 ◎課題・工夫点等:情報共有,意見交換を通じ,自機関の運営に資する。
その他 F.A.	館内で若手職員をプロジェクトに誘い,スキルの伝授を心がけている。システムの自力構築をめざし,カスタマイズを計画している。アクセスログを分析し投稿者に送り,更なる投稿への意欲を育てている。

【大阪大学附属図書館・提供アーカイブ】

■大阪大学学術情報庫 OUKA (1件目/2件中)

公開年:2007年 URL:http://ir.library.osaka-u.ac.jp 更新頻度:その他(不定期)

概要	学内の紀要論文,博士学位論文が多いがこれから商業学術雑誌論文の収集も積極的に推進する予定である。 ◆コンテンツ総容量:45GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:15,000件〔博士論文1,166件,紀要論文5,816件,Working Paper 598件,貴重書435件,本学関連学会5,882件等〕 ※論文1点を1件と数える ◆コンテンツ増加量:2,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:19,000件/月〔収録コンテンツの増加に伴い,月間平均をとるのが難しいほどアクセスが増加しつつある。4月ダウンロード数約16,500件,10月ダウンロード数26,832件〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:収録本文PDFファイルにOCRテキストを付与しGoogleなど検索エンジンから入りやすい工夫をしている。また雑誌には目次ページを作成し,電子出版ライク名イメージを保ち通覧できるようにしている。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:E-repository ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:その他:NIIのCSI事業受託事業費, ◆予算獲得のきっかけ:NIIの平成17年度CSI事業委託事業に採択されたこと ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔ハードウェア調達,ソフトウェア導入,資料電子化〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:ejournal,DB担当の職員 ◆準拠フォーマット:junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, ppt, html ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:必ず作業用コンソールPCにアップロードするバックアップファイルを保存している。更にサーバデータも自動バックアップ処理をかけている。課題としては保守・カスタマイズ経費がかさむのでサーバ環境を自力構築すること。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIR0, IRDB

■電子展示 (2件目/2件中)

公開年:1998年 URL:http://www.library.osaka-u.ac.jp/tenji/e-exhb.htm 更新頻度:その他(不定期)

概要	<p>本学が所蔵する貴重資料を電子化・公開するもの</p> <p>◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:604件〔西洋古版アジア地図100点,赤本文庫100点,懐徳堂9点,能・狂言デッサン395点〕※能・狂言は演目を1件と数える ◆コンテンツ増加量:0件</p>
利用者	<p>◆ウェブアクセス数[増減傾向]:不明〔アクセス・ログの分析を行っていない〕</p> <p>◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料</p>
構築	<p>◆システム開発方法:その他:外注 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:概算要求 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔全て外部委託〕 ◆コンテンツ作成費:不明</p>
運営	<p>◆年間運営予算[理由]:0円〔予算配分がない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材</p>
技術	<p>◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:教員が作成した目録をもとに ◆準拠フォーマット:不明</p> <p>◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—</p> <p>◎課題・工夫点等:長期保存の検討が必要。</p>
システム間連携	<p>◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない</p>

奈良女子大学附属図書館

住所:630-8506 奈良市北魚屋西町 開設年:1909年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書520,000冊 職員総数(非常勤を含む):16人

回答担当:図書課電子情報係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔奈良地域の寺社仏閣等が所蔵している資料のDB化なので達成はない〕 ②調査研究用〔利用者から、大変便利に使っているとの声を頂いている〕 ③二次利用・貸出〔ホームページからの画像利用が多くなっている〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.4% ◆外部委託費が占める割合:0.2% ◎課題・工夫点等:教員との連携を密にし、科研費・受託研究費等を積極的に活用している。
人員	◆運営担当者:新規採用、知識の多い職員、研究者等専門家 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブのデータ・コンテンツ作成やシステム更新等運用工程の一部が担える ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立、セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、他部署に一任 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔100件/0円〕 ◎課題・工夫点等:公開している画像データベースの画像利用についての問い合わせに対する対応窓口が決まっていない。また、所蔵資料の画像利用の利用規程が定まっていないため、早急に定める必要がある。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔文化財情報の提供を受けている〕 ◎課題・工夫点等:元興寺文化財研究所、奈良県教育委員会文化財保存課と連携することによって、奈良地域の文化財情報を提供してもらい、画像デジタル化の今後の予定を立てている。
その他 F.A.	奈良地域に点在する寺社仏閣等の中には、所有する貴重資料の公開を希望するが、ノウハウや人手が不足しているため公開に踏み切れないという現状がある。それらの寺社仏閣等に対して無償で公開することを条件として奈良女子大学のデジタルアーカイブの構築を行っている。

【奈良女子大学附属図書館・提供アーカイブ】

■奈良地域関連資料画像データベース (1件目/3件中)

公開年:1996年 URL:<http://www.lib.nara-wu.ac.jp> 更新頻度:年数回程度

概要	奈良地域の寺社仏閣等が所有する文化的貴重資料のデジタル画像化を行い、「いつでもどこでも誰にでも」をモットーとして高精細画像をインターネット上に無償で公開している。 ◆コンテンツ総容量:4GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:155件〔(国宝)興福寺本日本霊異記、春日大社境外末社絵図ほか〕 ※公開しているタイトルを1件と数える ◆コンテンツ増加量:3件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:150件/月〔ほぼ平均している〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入り口のアイコンを作成してホームページから分りやすくしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算〔理由〕:0円〔レンタル図書館システムサーバを使用したため〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔スキャナによる画像取り込みのため〕
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:文学部教授 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPG, GIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:課題としてはサーバの老朽化に対する更新のための経費確保。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

■奈良女子大学所蔵資料電子画像集 (2件目/3件中) 公開年:1997年 URL:http://www.lib.nara-wu.ac.jp/nwugdb/ 更新頻度:その他(必要に応じて)	
概要	奈良女子大学が所蔵する貴重資料をデジタル画像化して公開している。 ◆コンテンツ総容量:2GB ◆コンテンツ総件数(内訳):12件〔英語学英米文学論集ほか〕※公開しているタイトルを1件と数える ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:20件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入り口のアイコンを作成してホームページから分りやすくしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:文部省経費 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費(理由):0円〔スキャナによる画像取り込みのため〕
運営	◆年間運営予算(理由):0円〔画像化する資料が無いため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:文学部教授 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPG, GIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:課題としてはサーバの老朽化に対する更新のための経費確保。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA
■奈良女子大学学術情報リポジトリ (3件目/3件中) 公開年:2006年 URL:http://www.lib.nara-wu.ac.jp/nwugdb/repository/ 更新頻度:週1回程度	
概要	奈良女子大学が発行する刊行物をインターネットで公開している。 ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数:620件 ◆コンテンツ増加量:100件
利用者	◆ウェブアクセス数(増減傾向):6,000件/月〔増加傾向にある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Dspace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:その他:NII委託事業経費 ◆予算獲得のきっかけ:平成18年度NII委託事業経費 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPG, GIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:課題としてはサーバの老朽化に対する更新のための経費確保。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OpenSearch, OpenURL, OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, JAIRO, CiNii

和歌山大学附属図書館

住所:640-8510 和歌山市栄谷 930 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 710,000 冊 職員総数(非常勤を含む):27人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔原資料の損傷を最小限に防げる〕 ②活動成果の普及〔利用者サービスの向上につながる〕 ③調査研究用〔研究支援への推進につながる〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:webサイトを構築して,HTMLコンテンツを作成できる ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:著作権フリーのため権利処理なし
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【和歌山大学附属図書館・提供アーカイブ】

■紀州藩文庫 (1件目/1件中)

公開年:2004年 URL:<http://densi.lib.wakayama-u.ac.jp> 更新頻度:年1回程度

概要	紀州藩の藩校旧蔵,国書漢籍約2,500冊を引き継いだものの一部 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:3件〔書籍54冊〕 ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:業者に委託 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔コンテンツ作成以外すべて〕 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔自前で作成〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0円〔コンテンツは無料,構築は自前で作業ができる〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:GIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

島根大学附属図書館

住所:690-8504 松江市西川津町 1060 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 871, 595 冊 職員総数(非常勤を含む):33 人

回答担当:学術国際部図書情報課

目的 〔達成状況〕	①調査研究用〔アーカイブを利用した共同研究により論文の生産が行われている〕 ②資料の保存・管理〔保存対策と合わせて行うことで資料の把握がしやすくなっている〕 ③検索性の向上〔アーカイブした資料の視認性が向上した〕
所蔵資料の 収録率	0.1%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:図書館として研究開発室予算を申請し電子化費用としている。また、教員と連携し外部資金等も利用し電子化を進めている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立, 専門家の指導 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブでは、従来の資料の取扱と電子データの取扱についての知識が必要となる。本学外の所蔵資料も取り扱うため権利関係の処理等手探りで進めている状況にある。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理, 著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔2件/—〕 ◎課題・工夫点等:権利処理に関する文書とマニュアルを整備中であるが、利用条件は多様で定型的なパターンのみでの処理は行いにくい。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【島根大学附属図書館・提供アーカイブ】

■Shimane University Library Digital Archive (1 件目/1 件中)

公開年:2009年 URL:<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/> 更新頻度:その他(不定期:コンテンツ整理状況による)

概要	本学所蔵貴重資料, 教育研究利用のため収集した学外資料及び調査研究のため電子化した資料より構成されている。本学貴重資料の「桑原文庫」を中心として、歌本, 絵図, 文書からなる。 ◆コンテンツ総容量:0.5TB ◆コンテンツ総件数:1,665 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:入り口を図書館 HP に用意している, Google のエンジンに登録している。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPRG, FPX ◆保存用ファイル:JPRG, PSD, TIFF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:保存を大容量 HDD とし定期的な更新を行う事で, メディア依存性の低減が図れないか試行中 ◎課題・工夫点等:アーカイブを公開する事により電子データの利用も増えており保存用データと合わせた管理システムに改良する必要がある。また, メタデータについて独自仕様としているが OAI-PMH 等のフォーマットも考慮する必要がある。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

徳島大学附属図書館

住所:770-8507 徳島市南常三島町2丁目1 開設年:1952年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書816,371冊/所蔵品2,003点 職員総数(非常勤を含む):33人

回答担当:電子情報係

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔史料・古地図本体を直接扱う場面が減り、史料本体の保存に役立っている〕 ②新しい表現〔史料の検索機能や古地図の拡大表示などを行っている〕 ③検索性の向上〔1つのデジタルアーカイブでのみ実施しているが、史料の活用に関立っている〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:予算は毎年確保されたものではなく、データ追加等の予算がついた年に随時対応している。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:サーバー・ホームページを始めとするシステム管理 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:他の業務(システム管理等)が主になっており、デジタルアーカイブに関する業務は合間で行える程度である。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔0件/0円〕 ◎課題・工夫点等:先に回答したとおり、現状では著作権フリーのものだけをデジタル化しているため、権利問題は今のところ考慮していない。今後の機関リポジトリ構築に向けて対応を検討しているところである。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:今後構築する予定である機関リポジトリについて、情報交換等を考えている。
その他 F.A.	—

【徳島大学附属図書館・提供アーカイブ】

■徳島大学附属図書館貴重資料高精細デジタルアーカイブ (1件目/2件中)

公開年:1998年 URL:<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/~archive/> 更新頻度:その他(ほとんどない)

概要	徳島大学附属図書館所蔵の国絵図・城下絵図・伊能図等を収録。 ◆コンテンツ総容量:11.5GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:54件〔全て古地図・古絵図等〕 ※同じ古地図等のサムネイル・全体図・部分拡大図を1件と数える ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:1,500件/月〔おおむね一定しているが、このデジタルアーカイブは雑誌等で紹介されることがあり、その時はアクセス数が一時上昇する〕 ◆館内等利用者数:0人 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館ホームページ上に「貴重資料ポータル」のページを設け、図書館所蔵の貴重資料のデジタル画像が閲覧できる窓口を一元化している。
構築	◆システム開発方法:その他:外部委託 ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成10,11年度科研費の交付による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔古地図等の画像化〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔データ追加分を昨年度予算で終え、今年度はデータ追加等がないため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:本学教授 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, TIFF ◆保存用ファイル:JPEG, TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:一部の古地図について、ZOOMAによる拡大ができ、古地図本体からは読みにくい細かい文字も読めるようになっている。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■蜂須賀家家臣団家譜史料データベース (2 件目/2 件中)

公開年:2007 年 URL:http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/dbhachi/hachi.html 更新頻度:その他(ほとんどない)

概要	<p>蜂須賀家の家臣が、それぞれの家の系譜を書きあげ藩庁に提出した史料である「蜂須賀家家臣成立書并系図」をデータベース化したもの</p> <p>◆コンテンツ総容量:3.9GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:25,800 件 [全て史料の画像。史料の 1 ページまたは見開きで 1 画像になっている] ※1 画像(1 ページまたは見開き)を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:0 件</p>
利用者	<p>◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:0 人/月 ◆利用条件:無料</p> <p>◎課題・工夫点等:図書館ホームページ上に「貴重資料ポータル」のページを設け、図書館所蔵の貴重資料のデジタル画像が閲覧できる窓口を一元化している。</p>
構築	<p>◆システム開発方法:パッケージ利用:LIMEDIO ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:国の補助金</p> <p>◆予算獲得のきっかけ:平成 17 年度科研費の交付による ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [史料の pdf 化, データのシステムへの搭載] ◆コンテンツ作成費:201 万円以上</p>
運営	<p>◆年間運営予算[理由]:0 円 [公開後のデータ追加等がないため] ◆運営業務の担い手:内部の人材</p>
技術	<p>◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:本学教授と学生 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—</p> <p>◎課題・工夫点等:一つの家でも何代目かに改姓することがある。改姓前の姓・改姓した姓いづれでも検索できるようにしている。</p>
システム連携	<p>◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない</p>

鳴門教育大学附属図書館

住所:772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島 748 開設年:1984年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 315,000 冊 職員総数(非常勤を含む):20 人

回答担当:教務部教務課図書チーム

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔収集してきた資料を一般に公開し、郷土史の普及・公開に寄与している〕 ②調査研究用〔郷土史等の研究資料として活用されている〕 ③検索性の向上〔印刷媒体では困難であった資料の検索がデジタル化で容易になった〕
所蔵資料の 収録率	100%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:その他:必要に応じ常勤職員が日常業務と兼務している ◆人材育成の取組:その他:特に育成は行っていない
権利処理	◆処理方法:その他:可能な範囲で著作権に配慮している ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [0 件/0 円]
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している [21 年 9 月に中国・四国地区国立大学図書館協同展示会にパネル出展した]
その他 F.A.	—

【鳴門教育大学附属図書館・提供アーカイブ】

■後藤家文書画像データベース (1 件目/1 件中)

公開年:2007 年 URL:<http://www.naruto-u.ac.jp/db/gotou/> 更新頻度:その他(必要があれば適宜更新)

概要	後藤家文書には、組頭庄屋関係史料を中心に、後藤家の経営史料をはじめ、村落史・農政史・藩制史・商業史・文化史など多様な分野に関する内容が含まれる。例えば、阿波を代表する商品作物・藍の流通関係文書や、水利関係文書、あるいは四国八十八ヶ所巡礼の道沿いである早瀬村周辺の四国遍路に関する文書などを見ることができる。また、名東新聞など、他に見られない貴重な記録も多い。(WEB ページより抜粋) ◆コンテンツ総容量:203GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:88,226 件〔古文書, 新聞, 歌集, 書籍〕 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:213 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館 WEB 上トップページで、研究成果等の一環として本データベース名を記載し、アクセスしやすいように心がけた。
構築	◆システム開発方法:その他:専門業者に外部委託した ◆構築予算:1001~2000 万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成 17 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の交付申請による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔画像撮影・処理等〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔新規コンテンツ追加等が発生していないため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:本学教員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:ZOOMA ◆保存用ファイル:JPEG, TIFF ◆記録媒体:HD, その他:DVD-R ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

愛媛大学図書館

住所:790-8577 松山市文京町3 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書1,230,000冊 職員総数(非常勤を含む):41人

回答担当:学術情報チーム

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔達成〕 ②活動成果の普及〔達成〕 ③検索性の向上〔ほぼ達成〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:図書館司書 ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立,セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔202件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔国文学研究所資料館〕
その他 F.A.	—

【愛媛大学図書館・提供アーカイブ】

■近世絵画 (1件目/11件中) 公開年:2003年 URL: http://www.lib.ehime-u.ac.jp/KAIGA/ 更新頻度:その他	
概要	近世,吉田蔵沢ほか文人画 ◆コンテンツ総容量:6MB ◆コンテンツ総件数:11件 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:300件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:支援団体の補助金(田嶋記念財団・平成14年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:田嶋記念財団への申請 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔デジタル撮影・ホームページ作成〕 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔デジタル撮影,ホームページ作成〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学junii2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—
■俳家先哲墨蹟鑑 (2件目/11件中) 公開年:2003年 URL: http://www.lib.ehime-u.ac.jp/HAIKA/ 更新頻度:その他	
概要	慶応4年編纂,近世俳家の墨蹟集 ◆コンテンツ総容量:3MB ◆コンテンツ総件数:1件 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:500件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:支援団体の補助金(田嶋記念財団,平成14年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:田嶋記念財団への申請 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔デジタル撮影・ホームページ作成〕 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔デジタル撮影,ホームページ作成〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—

■江嶋家文書 (3 件目/11 件中)	
公開年:2003 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/EJIMA/ 更新頻度:その他	
概要	江戸時代, 今治藩家老江嶋為信関係文書・書簡・短冊 ◆コンテンツ総容量:78MB ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:4,700 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自治体の補助金(今治市), 支援団体の補助金(田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:今治市への申請 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 junii2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—
■多田満中(絵巻) (4 件目/11 件中)	
公開年:2002 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/MANJU/ 更新頻度:その他	
概要	江戸中期, 幸若舞の絵巻物, 絵は高精細画像 ◆コンテンツ総容量:150MB ◆コンテンツ総件数:1 件 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:2,500 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:支援団体の補助金(田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:田嶋記念財団への申請 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 junii2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—
■西條誌稿本 (5 件目/11 件中)	
公開年:2001 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/saijo/ 更新頻度:その他	
概要	近世(西條藩)の地方誌絵図あり ◆コンテンツ総容量:130MB ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:19,100 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自治体の補助金(西条市), 支援団体の補助金(田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:西条市への申請 ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 junii2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—

■句碑めぐり (6 件目/11 件中) 公開年:1996 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/KUHI/JAP/ 更新頻度:その他	
概要	俳都松山市の句碑を紹介 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:217 件 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:12,800 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0 円 [図書館員が構築] ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [図書館員が構築]
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 juni2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—
■堀内文庫 (目録) (7 件目/11 件中) 公開年:1999 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/HORIUCHI/index.html 更新頻度:その他	
概要	安土桃山から明治初期までの刊本, 写本。源氏物語研究ほか ◆コンテンツ総容量:12MB ◆コンテンツ総件数:128 件 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:900 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算, 支援団体の補助金 (田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 juni2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—
■永野文庫 (目録) (8 件目/11 件中) 公開年:2001 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/NAGANO/ 更新頻度:その他	
概要	小松藩永野家の古医学書, 書写本, 板本 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:— ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:1,100 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算, 支援団体の補助金 (田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 juni2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—

■日次紀事（ひなみきじ） (9 件目/11 件中) 公開年:2004 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/HINAMI/ 更新頻度:その他	
概要	京都の年中行事, 伝本極めて稀 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:— ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:3,800 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:— ◆予算の出所:自前の予算, 支援団体の補助金 (田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 junii2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—
■鈴鹿本大和物語 (10 件目/11 件中) 公開年:2004 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/YAMATO/ 更新頻度:その他	
概要	室町中期以降, 異本系の一冊 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:— ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:1,200 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:— ◆予算の出所:自前の予算, 支援団体の補助金 (田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 junii2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—
■鈴鹿文庫 (11 件目/11 件中) 公開年:2004 年 URL:http://www.lib.ehime-u.ac.jp/SUZUKA/ 更新頻度:年 1 回程度	
概要	神道, 和歌, 物語, 随筆, 日記などの書写本, 板本等 ◆コンテンツ総容量:3.5MB ◆コンテンツ総件数:— ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:45,600 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:— ◆予算の出所:自前の予算, 支援団体の補助金 (田嶋記念財団, 平成 14 年度公開) ◆予算獲得のきっかけ:田嶋記念財団への申請 ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影・ホームページ作成] ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [デジタル撮影, ホームページ作成]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア 国立情報学 junii2 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—

福岡教育大学附属図書館

住所:811-4192 宗像市赤間文教町 1-5 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 516,000 冊 職員総数(非常勤を含む):11 人

回答担当:図書館課図書館サービス係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔学外者からの問い合わせなどが増えた〕 ②新しい表現〔少しずつ学内でも広がりつつある〕 ③資料の保存・管理〔開始したばかりで、効果はまだ分からない〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:前職がシステムエンジニアで,デジタルアーカイブのデータ・コンテンツ作成やシステム更新等運用工程の一部が担える ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立,セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,処理方法がわからない,自機関のみ限定利用 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔国立大学協会九州地区支部内の大学間連携事業として共同編集による学術論文集の電子出版に取り組んでいる〕
その他 F.A.	—

【福岡教育大学附属図書館・提供アーカイブ】

■福岡教育大学リポジトリ (1 件目/1 件中)

公開年:2006年 URL:<http://libir.fukuoka-edu.ac.jp/DSpace/> 更新頻度:月 1 回程度

概要	主に本学で発行した紀要や科研報告書,教材などを収録している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:740 件〔文書 730 件,図書 1 件,画像 9 件〕 ◆コンテンツ増加量:250 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:通常の学内および図書館システム導入の際,併せて導入を行った ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔システム設計,構築,データ移行など〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円〔元々図書館で持っていた PDF,メタデータを移行したため〕
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:サービス部門担当の司書 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:PDF, JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

九州大学附属図書館

住所:812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10-1 開設年:1909 年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 3,962,588 冊 職員総数(非常勤を含む):128 人

回答担当: e リソースサービス室リポジトリ係

目的 〔達成状況〕	①その他:研究教育の発展と社会への貢献〔IR コンテンツ, 電子化資料ともに着実に増加, アクセスも増えている〕 ②活動成果の普及〔大学の中期目標, 中期計画にも明記されている〕 ③資料の保存・管理〔貴重資料の電子化を毎年コンスタントに実施している〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.5% ◆外部委託費が占める割合:70%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員, 研究者等専門家, 非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:海外への実務研究等の経験を積んだ職員が担当。著作権, システム管理や開発についても, 常に学習しながら業務を行っている ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等: ・平成 20, 21 年 CSI 委託事業のプロジェクトで「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」として学内外から受講者を募りシステム講習会を実施。 ・研究開発室の室員である教員と連携をして, 専門知識を学ぶ。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理, 他部署に一任, 著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔60 件/0 円〕 ◎課題・工夫点等:権利処理を 1 名で行っている現状がある。組織的に行えるよう体制やマニュアル整備をする予定である。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔評価情報室や情報担当部署, 広報部署などと協力をして業務を行う〕 ◎課題・工夫点等:図書館のみの取組でなく, 大学の取組として考えている。
その他 F.A.	・安定したシステムの構築と継続を計画する。 ・より効果的に発信するために, メタデータの整備に力を入れている。 ・実際に利活用する教員, 研究者と連携をして機能の強化等を考える。

【九州大学附属図書館・提供アーカイブ】

■九州大学学術情報リポジトリ (1 件目/8 件中)

公開年:2006 年 URL:<https://qir.kyushu-u.ac.jp/> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	本学の研究教育活動において作成された学術情報等, 詳細については, 九州大学学術情報リポジトリ運営指針に従う。 ◆コンテンツ総容量:28GB ◆コンテンツ総件数:12,700 件 ◆コンテンツ増加量:3,500 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:100,000 件/月〔次第に増加傾向にある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:・メタデータの整備 ・教員や他部署と連携をし, 機能開発
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace V1.3.2 日本語版スタートキット ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:その他:CSI 委託事業費 ◆予算獲得のきっかけ:CSI 委託事業 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔サーバ設定〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:自前の予算, その他 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員と学生アルバイト ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF, PPT ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:災害時等対応のためのバックアップ運用を考えている ◎課題・工夫点等:・システムリプレイスが課題である。
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO, CiNii

■九州大学蔵書印データベース (2件目/8件中) 公開年:2009年 URL: http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002STAMP 更新頻度:年数回程度	
概要	九州大学所蔵資料に押捺された蔵書印の写真を収集したもの。略伝等の情報を公開している。 ◆コンテンツ総容量:46MB ◆コンテンツ総件数:360件 ◆コンテンツ増加量:15件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:100件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Infolib (他のアーカイブと併用) ◆構築予算[理由]:0円 [追加アーカイブとして構築] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円 [すべて自前で作成]
運営	◆年間運営予算:不明 (infolib 全体の保守費は年間約35万円,アーカイブごとには算出できない) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:他ではない特色あるアーカイブである。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■九州大学附属図書館医学分館所蔵古医書画像データベース (3件目/8件中) 公開年:2002年 URL: http://herakles.lib.kyushu-u.ac.jp/icomb/ 更新頻度:その他(更新なし)	
概要	九州大学附属図書館医学分館が所蔵する西洋の古医書や和書・漢書を多数含む国内有数のコレクションをデータベース化したもの ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:9,000件 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成14年度科学研究費補助金 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, HTML ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■九州大学附属図書館所蔵「竹田文庫」画像データベース (4件目/8件中) 公開年:2003年 URL: http://herakles.lib.kyushu-u.ac.jp/t-bunko/index.html 更新頻度:その他(更新なし)	
概要	竹田家は福岡藩の儒者。貝原益軒をはじめ荻生徂徠や雨森芳州からの手紙、朝鮮通信使の詩文などの画像データベース ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:680件 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, HTML ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■カイクコの成長記録データベース (5 件目/8 件中) 公開年:2009 年 URL: http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002KAIKO 更新頻度:その他(数年に1回程度)	
概要	九州大学大学院農学研究院附属遺伝子資源開発研究センターが、農学部設立(1920)以来、カイクコの遺伝子系統を記録してきたものをデータベース化 ◆コンテンツ総容量:3.5GB ◆コンテンツ総件数:87,000 件 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:15 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:その他(画像は、パスワード認証)
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Infolib (他のアーカイブと併用) ◆構築予算[理由]:0 円 [追加アーカイブとして構築] ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [メタデータ作成, 画像作成, サーバ設定] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 (infolib 全体の保守費は年間約 35 万円, アーカイブごとには算出できない) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PNG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■日本古典籍画像データベース (6 件目/8 件中) 公開年:2009 年 URL: http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002rare2 更新頻度:年1回程度	
概要	九州大学が所蔵する日本古典籍を画像化し、活字本との対応頁検索機能を付与したデータベース ◆コンテンツ総容量:8GB ◆コンテンツ総件数:33,150 件※冊子見開き1ページを1件と数える ◆コンテンツ増加量:2,000 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:100 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Infolib (他のアーカイブと併用) ◆構築予算[理由]:0 円 [追加アーカイブとして構築] ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [サーバ設定] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 (infolib 全体の保守費は年間約 35 万円, アーカイブごとには算出できない) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員・学生アルバイト ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:統合検索できるよう整備をした (そのため一次調査の総件数より今回調査の件数が増えている)。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■九州大学貴重書データベース (7 件目/8 件中) 公開年:2009 年 URL: http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002RARE 更新頻度:年数回程度	
概要	九州大学が所蔵する貴重書および所蔵資料の冊子目録を画像化し、データベースとして公開 ◆コンテンツ総容量:25GB ◆コンテンツ総件数:200 件 ◆コンテンツ増加量:10 件
利用者	◆ウェブアクセス数:200 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Infolib (他のアーカイブと併用) ◆構築予算[理由]:0 円 [追加アーカイブとして構築] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 (infolib 全体の保守費は年間約 35 万円, アーカイブごとには算出できない) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■炭鉱画像データベース (8 件目/8 件中) 公開年:2007 年 URL: http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002MLBES1 更新頻度:年1回程度	
概要	九州大学附属図書館付設記録資料館が所蔵する炭鉱資料の画像データベース ◆コンテンツ総容量:13GB ◆コンテンツ総件数:6,700 件 ◆コンテンツ増加量:100 件
利用者	◆ウェブアクセス数:300 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Infolib (他のアーカイブと併用) ◆構築予算[理由]:0 円 [追加アーカイブとして構築] ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [サーバ設定] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 (infolib 全体の保守費は年間約 35 万円, アーカイブごとには算出できない) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, HTML ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

九州工業大学附属図書館

住所:804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1-1 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 520,000 冊 職員総数(非常勤を含む):28人

回答担当:情報管理係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔約1,000件以上の研究成果を登録し公開している〕 ②資料の保存・管理〔ハンドシステムより永続的なアクセスを保障している〕 ③検索性の向上〔Google等からの検索が可能になり論文の可視性が向上した〕
所蔵資料の 収録率	0.03%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.04% ◆外部委託費が占める割合:74.63% ◎課題・工夫点等:継続的な予算が確保されていない。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:専門知識やスキルがない状態から担当し,外部機関等の研修受講,情報収集,独学での学習等を通して,現在は運用の管理及び実作業に携わっている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:一材の確保が困難であり,担当者が不足している。知識の習得に関しては研修等があれば積極的に参加している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,専門家等に一任 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:調査・確認等の作業に時間がかかり,また申請しても登録不可となるケースも多いため作業しても確実に登録できるとはいえず,非効率的な面がある。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔リポジトリの連携組織に加入している〕 ◎課題・工夫点等:専門知識の習得や技術の向上において,他機関との協力体制を確立することは大変意義のあることであり,今後も引き続き連携したい。
その他 F.A.	各教員の研究成果を個別に調査し,少数ずつでも確実に登録件数が増加するように努めている。

【九州工業大学附属図書館・提供アーカイブ】

■九州工業大学学術機関リポジトリ “Kyutacar” (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://ds.lib.kyutech.ac.jp/Dspace/> 更新頻度:週1回程度

概要	九州工業大学の研究成果物である学術雑誌論文, 紀要論文, 学位論文, 研究調査報告書等を収集・保存し, 公開している。 ◆コンテンツ総容量:1.8GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:1,434件〔学術雑誌論文 919件 学位論文 63件 紀要論文 75件 テクニカルレポート 20件 研究報告書 46件 会議発表論文 41件 会議発表用資料 5件 図書 1件 その他 264件〕 ◆コンテンツ増加量:1,100件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:3,052件/月〔Googleにクローリングされるようになって急激に増加した〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:OAI データプロバイダリストへの登録及び Google, Google Scholar, OAIster 等へ登録している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:外部の委託事業に採択されなかったため学内経費で措置することになった ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔サーバ構築・システム設定等〕 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算, その他 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔派遣職員による業務支援〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:Jui2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:システムのバージョンアップへの対応, システム更新・保守の体制の確立が困難である。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO, Google Scholar, OAIster

熊本大学附属図書館中央館

住所:860-8555 熊本市黒髪2丁目40-1 開設年:1949年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書1,080,000冊 職員総数(非常勤を含む):29人

回答担当:学術情報部図書課電子情報担当

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔外部から参考にしたい内容があるとのことで著者への問い合わせをいただくことがある〕 ②検索性の向上 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:1.8% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:C S I 委託事業経費に自己調達資金を加えた予算で運用している。委託事業終了後も安定した運用を持続させるために保守経費等や人件費は自己調達資金でまかなっている。
人員	◆運営担当者:他部署の者,非常勤・アルバイト ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:担当者は,全国的な会議や専門知識を習得する研修会などへ積極的に参加して,必要なスキルを身につけている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,権利者との信頼関係 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:「権利問題」は,WEB公開での必須条件として位置づけており,権利者の所在を調査している。学位論文の場合,卒業生(著者)への問い合わせとなるため,各学部と同窓会とも連携をはかっている。
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している〔DRF(Digital Repository Federation)及び九州大学「持続可能な機関リポジトリの人材進化構造」へ参加〕 ◎課題・工夫点等:他機関との連携では,最新情報を得ることはもちろん,意見交換を通じて業務における疑問も解決している。本学リポジトリの運営において大変役立っている。
その他 F.A.	コンテンツ数を増やして,学内研究者(教員等)に利用価値を実感してもらえれば,自発的に論文等の登録を希望していただけるのではと考え,現在のところ(雑誌掲載論文の場合)出版社の著作権ポリシーが,出版社版の搭載を認めているものから,著者(教員等)の許諾を確認して順次登録している。また,NIIからのCSI経費をシステムの管理・運営経費の一部として充てている。

【熊本大学附属図書館中央館・提供アーカイブ】

■熊本大学学術リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2006年 URL:<http://reposit.lib.kumamoto-u.ac.jp> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	本学の研究者(教員等)が作成した(論文や学会発表資料などの)学術研究成果物である。著者の許諾を前提としているのですべてのコンテンツには,本文データが含まれる。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:6,353件〔発表論文390,紀要論文5,209,博士論文623,会議資料等159,研究報告書114,その他資料301(件)〕 ◆コンテンツ増加量:1,529件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:10,217件/月〔夏季は少なめであるが,12月から3月にかけて増加するという傾向がある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:Googleなど検索エンジンから直接,本文データへアクセスできるように工夫している。
構築	◆システム開発方法:その他:業者と提携し,開発した。 ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金, ◆予算獲得のきっかけ:国立情報学研究所(NII)より学術機関リポジトリ構築連携支援事業委託事業として ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:熊本大学学術リポジトリ運用指針 ◆メタデータ作成者:投稿者本人または,図書館担当職員 ◆準拠フォーマット:タブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:HD,CD-ROM ◆長期保存のための取組:本学学術リポジトリの電子データは,別途CD-ROM等でも保管されている。さらに,電子化された紙媒体資料も(可能な限り)保存している。また,定期的にバックアップもとっている ◎課題・工夫点等:恒久的な保存方法について,より有効なものを検討中である。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO等

大分大学学術情報拠点（図書館）

住所:870-1192 大分市大字且野原 700 開設年:1968年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 760,000 冊 職員総数(非常勤を含む):10人

回答担当:学術情報課システム担当

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔表立った変化は現在のところそれほどない〕 ②資料の保存・管理〔表立った変化は現在のところそれほどない〕 ③検索性の向上〔JAIRO, CiNii との連携により検索性は向上したと思われる〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.08% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:ここ2年間協力関係にある学生プロジェクトへの支払いについて予算化の措置を講じた。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:図書館職員で、UNIX やサーバの知識があるものがシステムの運用を担当し、メタデータ作成可能な目録作成担当の図書館職員がメタデータの作成を行っている ◆人材育成の取組:その他:職員の自主研修及び Nii の研修会等への参加 ◎課題・工夫点等:セクションの枠を超えたワーキングチームを設けて、知識や情報を共有、勉強会を通じて人材育成の努力をしている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:自機関発行物掲載論文については投稿規程または編集内規等でアーカイブへの登録を許可することを定めてもらった。博士論文については、論文提出時に著者からの許諾を文書で同時に提出してもらうようになった。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:同県内の他大学等との共同運用について検討中であり、勉強会を開催するなどしている。
その他 F.A.	本大学の工学部のシステム関係を専攻している学生と連携し、リポジトリサーバの改善や新規機能の開発等を行っている。

【大分大学学術情報拠点(図書館)・提供アーカイブ】

■電子図書館 (1件目/2件中)

公開年:2003年 URL:http://www.lib.oita-u.ac.jp/lib_r/dl/index.html 更新頻度:月1回程度

概要	江戸時代の後期から明治時代にかけての医学書を集めた医学史コレクション、学内発行紀要掲載論文、博士論文 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:200件〔古文書60件、紀要論文90件、博士論文50件〕 ◆コンテンツ増加量:30件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:0人/月 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:(株)リコー社製 図書館システム Limedio ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔職員が業務として行ったため〕
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:目録作成担当の図書館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, その他:DAT ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■大分大学学術情報リポジトリ: OUR (2件目/2件中)

公開年:2008年 URL:<http://www.lib.oita-u.ac.jp/> 更新頻度:週1回程度

概要	自機関所属教員等の発表論文、博士論文、戦前期資料 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:10,200件〔発表論文2,210件、博士論文70件、戦前期資料7,920件〕 ◆コンテンツ増加量:3,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:0人/月 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ロゴを含め UI を親しみやすいデザインにした。Google からのコンテンツ収集に対応した。
構築	◆システム開発方法:その他:OSS(Dspace)で構築した ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成18年度~19年度国立情報学研究所(NII)のCSI委託事業として採択されたため ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:目録作成担当の図書館職員 ◆準拠フォーマット:Junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:バックアップサーバを運用している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO, CiNii

鹿屋体育大学附属図書館

住所:891-2393 鹿屋市白水町1 開設年:1981年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書110,000冊 職員総数(非常勤を含む):6人

回答担当:学術図書情報課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔外部からのアクセス利用があり効果があった〕 ②検索性の向上 ③その他
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:図書館のシステム管理業務を経験 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔20件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔機関リポジトリに関しNIIと連携〕
その他 F.A.	—

【鹿屋体育大学附属図書館・提供アーカイブ】

■鹿屋体育大学学術情報リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://repo.lib.nifs-k.ac.jp> 更新頻度:年数回程度

概要	紀要論文, センター報告書, 発表論文 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:499件〔紀要類488件, 発表論文9件, その他2件〕 ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:500件/月 ◆館内等利用者数:0人 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:Googleへの提供, 国立情報学研究所 JAIRO
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:NALIS ◆構築予算:不明(図書館システムの機能の一部のため算定不可) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館システム2007年リプレイス費用 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔外部パッケージを利用。データ蓄積は機関内〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔電子化ファイルとして持っていた〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔業務の一環〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:国立情報学研究所 junii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:国立情報学研究所 JAIRO

長野県看護大学付属図書館

住所:399-4117 駒ヶ根市赤穂 1694 開設年:1997年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 53,000 冊 職員総数(非常勤を含む):3人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔不明〕 ②新しい表現〔不明〕 ③二次利用・貸出〔不明〕
所蔵資料の 収録率	(本学紀要のみ)
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:担当課が違うため不明
人員	◆運営担当者:その他:外注 ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:その他:特にしていない
権利処理	◆処理方法:その他:紀要の要項に著作権帰属の旨記載がある ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:不明
その他 F.A.	—

【長野県看護大学付属図書館・提供アーカイブ】

■長野県看護大学紀要 (1 件目/1 件中)

公開年:2004年 URL:<http://www.nagano-nurs.ac.jp/kiyou/index.html> 更新頻度:その他(発行毎)

概要	本学紀要の全文データベース ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:73件※論文1本を1件と数える ◆コンテンツ増加量:9件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔作成, 本学 HP への掲載〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:不明
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:その他:不明 ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

愛知県立大学学術情報センター 長久手キャンパス図書館

住所:480-1198 愛知県長久手町大字熊張字茨が廻間 1522-3 開設年:1951年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 505,000冊 職員総数(非常勤を含む):12人

回答担当:学術情報部図書情報課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔公開前のため効果は不明〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:6% ◆外部委託費が占める割合:100%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して公開の準備をしている。 ◆人材育成の取組:その他:特に取組はない
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:今のところその必要がない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【愛知県立大学学術情報センター長久手キャンパス図書館・提供アーカイブ】

■愛知県立大学所蔵 貴重書コレクション (1件目/1件中) ※準備中	
公開年:2010年 URL:web 公開予定 更新頻度:その他(予算次第)	
概要	◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:217件〔22タイトル 217冊〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未公開 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:(無料の予定)
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:学内予算,理事長特別研究費が交付されたため ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔資料の撮影,web ページの作成〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算,自治体の補助金 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔撮影業務〕
技術	◆参考文献:国立国会図書館遠隔研修「資料保存の基本的な考え方」 ◆メタデータ作成者:書誌的事項については図書館職員およびアルバイトが作成 ◆準拠フォーマット:(メタデータは作成していない) ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG(html上でリンク) ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:複数媒体(HD, DVD)でバックアップファイルを保存している。 ◎課題・工夫点等: ・DVDの保存媒体としての脆弱性が問題になっている。 ・OS等に比較的左右されないで安価に作成できるため,データベース構築はせず,htmlでリンクをする設計にした。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

京都府立医科大学附属図書館

住所:602-0857 京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町 410 開設年:1890 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 290,000 冊 職員総数(常勤のみ):5 人

目的 〔達成状況〕	①その他:自機関の所蔵資料(おもに貴重書)の公開 ②広報活動 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	(1%以下。非常に少ない)
運営予算	◆年間予算に占める割合:(1%以下。非常に少ない) ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:フリーソフトの使用
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:学芸員資格の所持。デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して撮影・Web コンテンツ作成を行っている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:課題:資料の撮影等について、詳しく知る人材がいない。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [0 件/0 円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【京都府立医科大学附属図書館・提供アーカイブ】

■京都府立医科大学附属図書館デジタルアーカイブ (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:<http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/library/denshi/index.html> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	大学の歴史に関わる資料と図書館所蔵の古医書目録 ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:5 件 [図書 5 冊] ◆コンテンツ増加量:3 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:英語のホームページを作成している。アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置している。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館からの働きかけ ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:1~10 万円
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [予算化していないため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:国立国会図書館 資料デジタル化の手引き ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

大阪府立大学学術情報センター

住所:599-8531 堺市中区学園町1-1 開設年:1993年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書60,000冊 職員総数(非常勤を含む):30人

回答担当:学術情報課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②資料の保存・管理 ③検索性の向上
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【大阪府立大学学術情報センター・提供アーカイブ】

■大阪府立大学学術情報リポジトリ (1件目/2件中)

公開年:2009年 URL:<http://repository.osakafu-u.ac.jp/> 更新頻度:月1回程度

概要	本学の教育研究成果物 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:2,800件〔本学紀要論文〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:10,000件/月〔増加傾向〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・リポジトリへの入口を大学ホームページ,図書館ホームページに設けている。 ・Google Scholar ヘクローラを依頼した。 ・OAI-PMH にデータ提供を行っている。
構築	◆システム開発方法:その他:DSpace ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:NII の CSI 事業に採択されたため ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔DSpace 構築・導入,機器設定〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔CiNii 掲載コンテンツ提供を受けたため〕
運営	◆年間運営予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔PDF作成,システム保守〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:電子情報担当 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア, NII ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:今後,教育研究成果物および学内刊行物について,過去分は順次電子化する。今後刊行されるものについては電子データが図書館に提供されるよう制度化をすすめる。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, CiNii, JAIRO

■中尾佐助スライドデータベース (2件目/2件中)

公開年:1999年 URL:<http://nakao-db.center.osakafu-u.ac.jp/> 更新頻度:その他(2009年2月で完成)

概要	本学名誉教授中尾佐助氏の照葉樹林文化関係のスライドをデータベース化した。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:22,000件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:支援団体の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:0円 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:教員と司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

県立広島大学学術情報センター図書館

住所:734-8558 広島市南区宇品東1丁目1-71 開設年:無回答年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書243,000冊 職員総数(非常勤を含む):10人

回答担当:学術情報課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔コンテンツへのアクセス、ダウンロードがされている〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:—
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:コンテンツ登録ができる程度 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔322件/0円(2008年度)〕
他機関との 連携	◆連携状況[連携内容]:連携している〔共同リポジトリに参加して運営,参加館担当者等で構成する勉強会や メーリングリスト等で情報交換をしている〕
その他 F.A.	—

【県立広島大学学術情報センター図書館・提供アーカイブ】

■広島県大学共同リポジトリ HARP (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/501> 更新頻度:年数回程度

概要	紀要論文 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:322件〔紀要論文〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:4,000件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:既に構築されている共同リポジトリに参加した ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:共同リポジトリへの参加が認められた ◆構築業務の 担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔国立情報学研究所で電子化済,CSI事業による電子化〕
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:リポジトリ担当者 ◆準拠フォーマット:シンプルダブリンコア, junii2 ◆利用・提供用ファイル:未使用,PDFファイル ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:連携していない

沖縄県立看護大学附属図書館

住所:902-0076 那覇市与儀 1 丁目 24-1 開設年:1999 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 56,710 冊 職員総数(非常勤を含む):6 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②広報活動 ③—
所蔵資料の 収録率	0.02%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員,研究者等専門家 ◆職員のスキル等:特別なスキルはなく,担当業務の一環で兼任している ◆人材育成の取組:その他:人材育成は特にしていない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【沖縄県立看護大学附属図書館・提供アーカイブ】

■OPCN 図書館だより (1 件目/1 件中)

公開年:2005 年 URL:<http://www.okinawa-nurs.ac.jp/lib/toshodayoriindex.html> 更新頻度:年数回程度

概要	図書館の情報発信・広報・利用者の声 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:8 件 ◆コンテンツ増加量:2 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:PDF を貼付 ◆構築予算[理由]:0 円 [自前で PDF を作成] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [自前で作成。本学教職員が作成した]
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [本学教職員が作成] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:本学教職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

33 大学図書館-4(私立)

東北公益文科大学メディアセンター

住所:998-8580 酒田市飯森山3丁目5-1 開設年:2001年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書93,000冊 職員総数(常勤のみ):5人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②広報活動 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:その他:大学コンソーシアムやまがた事務局が実施 ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:他部署に一任 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している [大学コンソーシアムやまがたに加入している]
その他 F.A.	—

【東北公益文科大学メディアセンター・提供アーカイブ】

■学術成果発信システムやまがた(ゆうキャンパスリポジトリ) (1件目/1件中)

公開年:2006年 URL:http://repo.lib.yamagata-u.ac.jp/ 更新頻度:年数回程度

概要	紀要論文, 学位論文, 科研費報告書, 教材, 山形関係学術資料等の教育及び研究成果物を発信・提供する。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:147件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆予算獲得のきっかけ:平成16年に設立された「大学コンソーシアムやまがた」による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔著作権処理のみ内部で実施〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔著作権処理のみ内部で実施〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明

城西大学水田記念図書館

住所:350-0295 坂戸市けやき台 1 丁目 1 開設年:1978 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 408,000 冊 職員総数(非常勤を含む):14 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②広報活動 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:2% ◆外部委託費が占める割合:86% ◎課題・工夫点等:上記は今年度単独構築を開始するため、初期構築予算である。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員,その他:地域共同リポジトリ運営については、埼玉大学のお世話になっている ◆職員のスキル等:コンテンツ登録に関しては、図書館目録経験, CiNii 登録経験のある専任職員が担当。ログ解析等はシスアド有資格者が担当。現在構築中の独自リポジトリに関しては、全体を管理するため、管理しやすい設計とした ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立,専門家の指導,セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:サーバー管理,ログ解析等については、委託のSEが担当。今後、業務委託する場合、経験者を確保できるか難しい。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任 ◆処理状況:その他:現状ではまだなし
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔SUCRA 埼玉県地域共同リポジトリ〕 ◎課題・工夫点等:埼玉県の地域リポジトリとして発展することを望んでいる。リポジトリがどのようなものか学内広報に役立っている。
その他 F.A.	これから独自のリポジトリ公開に向けて第一歩を踏み出したところである。先行機関のノウハウを勉強させていただきたい。特定の担当者だけでなく、図書館員が更新・維持しやすい仕組みを作りたい。

【城西大学水田記念図書館・提供アーカイブ】

■SUCRA (さくら Saitama United Cyber Repository of Academic Resources) (1 件目/1 件中)

公開年:2009 年 URL:<http://sucra.saitama-u.ac.jp> 更新頻度:年数回程度

概要	埼玉県内の大学等に在籍する研究者の学術雑誌掲載論文, 紀要論文, 科学研究費補助金成果報告書, 学位論文, 研究発表プレゼン資料などを登録。埼玉県地域共同リポジトリとして, 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)と埼玉大学が連携して運営。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:861 件〔学術雑誌論文 4 件, 紀要論文 464 件, 一般雑誌記事 4 件, その他 389 件〕※JAIRO のコンテンツ分析による ◆コンテンツ増加量:不明(まだ 1 年めのため)
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:720 件/月〔平成 21 年 1 月から 3 月の平均〕 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入り口を図書館 HP の Top ページに画像でリンク。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:XooNips ◆構築予算〔理由〕:0 円〔埼玉大学のサーバー利用〕 ◆予算獲得のきっかけ:学内の理解 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円〔Nii で作成または既にある PDF のみ入れたため〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔埼玉大学〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:独自のリポジトリを構築最中。
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:連携していない

敬愛大学メディアセンター

住所:263-8588 千葉県稲毛区穴川1丁目5-21 開設年:1966年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書150,000冊 職員総数(非常勤を含む):10人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔作成したばかりでまだ成果なし〕 ②活動成果の普及〔公開前の状態で、これから公開の作業に入る〕 ③新しい表現〔公開前の状態で、これから公開の作業に入る〕
所蔵資料の 収録率	3%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:実際の作業は外注しており、企画等をメディアセンターで行っている。専門的なスキルはあまりないのが現状 ◆人材育成の取組:その他
権利処理	◆処理方法:他部署に一任 ◆処理状況:その他
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【敬愛大学メディアセンター・提供アーカイブ】

■敬愛読本 (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:機関内一般公開(web公開予定) 更新頻度:その他

概要	建学の精神について説いたもの ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:— ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:(11月公開)/月 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:音声の解説付き。キーワードが Google 検索にリンク。
構築	◆システム開発方法:その他 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:本学として資料保存と教育の教材として活用することが理解され、予算がついた ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔コンテンツ作成〕 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆運營業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:教員, 図書館業務者 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:HTML ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組: —
システム連携	◆外部インターフェイス:— ◆連携システム:連携していない

國學院大学図書館

住所:150-8440 渋谷区東4丁目40-28 開設年:1882年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書1,400,000冊 職員総数(非常勤を含む):19人

回答担当:図書館事務課

目的 〔達成状況〕	①広報活動〔マスコミ等の利用が多くなった〕 ②二次利用・貸出〔提供依頼が増加した〕 ③調査研究用〔利用が増加した〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:— ◆外部委託費が占める割合:—
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独学で学習。又、一部業者に委託 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	現在では貴重資料のデジタル化のみ。

【國學院大学図書館・提供アーカイブ】

■國學院大学図書館デジタルライブラリー (1件目/1件中)

公開年:1998年 URL:<http://k-aiscr.kokugakuin.ac.jp/digital/diglib.html> 更新頻度:年1回程度

概要	図書館所蔵の貴重図書及準貴重図書 ◆コンテンツ総容量:800GB ◆コンテンツ総件数:150件 ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:ホームページ上でリンクしているのみ ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:資料の公開 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔デジタル化〕 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔デジタル化〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:説明は教員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:未使用 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:カラーマイクロフィルムの作成
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:国学院大学デジタルミュージアム

国際基督教大学図書館

住所:181-8585 三鷹市大沢3丁目10-2 開設年:1953年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書687,506冊/所蔵品2点 職員総数(非常勤を含む):33人

目的 〔達成状況〕	①調査研究用〔今年度に資料の一部がデジタル化されたため、効果は不明〕 ②二次利用・貸出〔今年度に資料の一部がデジタル化されたため、効果は不明〕 ③その他:貴重資料の劣化への対応〔今年度に資料の一部がデジタル化されたため、効果は不明〕
所蔵資料の 収録率	15%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.2% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:5ヵ年計画で貴重資料のデジタル化を現行予算内で進めたが、将来的な継続にあたっては新たな予算措置が必要となる。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して、データ・コンテンツ作成を外部業者に発注している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ等の担当者を配置することが難しいため、他の業務を担当する職員数人がプロジェクトとしてグループでデジタル化を進めている。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔0件/0円〕 ◎課題・工夫点等:学生対象の情報リテラシー教育のなかで、文献複写を行う際に著作権を侵害しないよう教えている。また、コピー機の設置場所に、著作権を侵害しないようポスターを掲示し、注意を喚起している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:他機関とデジタルアーカイブのノウハウを交換できれば非常に参考になると考えている。
その他 F.A.	現在のところ、著作権が発生しない資料のみデジタル化を行っている。

【国際基督教大学図書館・提供アーカイブ】

■「内村鑑三記念文庫」デジタルアーカイブ (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://lib-archive.icu.ac.jp/uchimura/index.html> 更新頻度:その他(必要に応じて更新)

概要	内村鑑三の自筆資料や写真を中心とする貴重資料 ◆コンテンツ総容量:一 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:594件〔写真等36件,原稿,書簡458件〕 ◆コンテンツ増加量:(2009年10月より公開のため実績なし)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・アーカイブへの入り口をホームページの分かりやすい場所に設置する。 ・検索エンジンにて検索しやすいようにキーワードを設定する。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得の:事業計画のなかで、5ヵ年計画として貴重資料のデジタル化を掲げ、現行予算内で構築した ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔資料のスキャン〕 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:レファレンス担当者及び目録担当者 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPG ◆保存用ファイル:PDF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:CD-ROMに保存する。 ◎課題・工夫点等:公開しているサーバについてはセキュリティ面での設定に留意したが、特に工夫といえるほどの技術はない。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

駒澤大学図書館

住所:154-8525 世田谷区駒沢1丁目23-1 開設年:1913年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書940,000冊 職員総数(非常勤を含む):65人

回答担当:運営課情報企画係

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔国内外研究者から評価を受けている。また、地域広報誌、他機関から掲載情報提供がある〕 ②広報活動〔継続的運用を目的の一つとしているが2003年より途切れること無く運用している〕 ③その他〔閲覧許可が必要な貴重図書の全文を公開することによって国内外に研究調査の機会を提供できている〕
所蔵資料の 収録率	0.002%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1.6% ◆外部委託費が占める割合:68% ◎課題・工夫点等:パッケージシステム維持費とリプレースに伴う導入経費、画像撮影の外部委託費用などの経費を前年と同額水準で確保することが困難になってきている。所属母体に対して本機関アーカイブの意義理解の推進が必要であると考えている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員、研究者等専門家、非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築未経験者が担当。システムについては図書館システム全体を担当する専門家およびパッケージサポートを導入し運用している。職員は外部研修参加、OJT等でコンテンツ作成スキル向上を図っている。またアーカイブのデータ・コンテンツは一部アルバイト採用者が作成を担当している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:比較的短期間で人事異動が行われ、数年置きに発生するシステムリプレースに適切に対応できる担当者を育成できない点が課題である。知識・スキルの違いが要因でアーカイブの継続が困難になりがちである。未経験者でもデータ・コンテンツ作成ができるようパッケージを導入してマニュアルを作成するなど工夫しており、コンテンツの質の維持についても外部研修への参加を図っている。OJTによるスキル習得の比重が大きい。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料、その他:学内刊行物については刊行担当部署が許諾を得たものを本機関がアーカイブ化している ◆処理状況:その他:本機関では権利処理の必要な資料はアーカイブ化していない ◎課題・工夫点等:本機関所蔵資料のアーカイブ化には権利処理が必要でない資料を扱っている。今後権利処理の必要が生じた際に権利処理についての経験がない点が課題。学内刊行物については刊行担当部署が許諾を得たものをアーカイブ化しているが著作者を含め、所属母体全体での研修が必要だと感じている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルアーカイブに関する連携組織に加入している〕 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブに関する連携組織に加入しているが、積極的に参加し、意見・質問を出すということができていない。連携機関のメーリングリストの情報を参考にするに留まっている。デジタルアーカイブについてのシステム面を含め知識が少ないため積極的に参加できないことを残念に感じている。
その他 F.A.	本機関のデジタルアーカイブ構築は本機関所蔵の『禅籍善本図録』(2000年3月刊)掲載の貴重図書の全文画像公開から始まったため、本機関所蔵の仏書を核に公開範囲を広げてきた。当初より貴重図書の画像については拡大表示できるようビューワーを取り入れ精細な資料を提供してきたが、結果的にブラウザに抛らずに閲覧できることでより普遍性を保てたことは喜ばしいことである。所属母体発行刊行物については、冊子体目録の電子化から始まった。所属研究者の成果を発信する意味から、目録から原文公開へと公開対象を拡大した。更新・維持についてはそれぞれのアーカイブによって頻度が異なるが、どちらも著者、研究者の期待に応えられるよう、迅速で正確な対応を心がけている。大学刊行物においては、デジタル公開により経費節減の効果も期待できる。また、大学刊行物及び所蔵貴重図書の全文画像情報公開をリプレース時の条件とし、蔵書検索システムとの連携をとったため利便性が向上した。

【駒澤大学図書館・提供アーカイブ】

■駒澤大学電子貴重書庫 (1件目/2件中)

公開年:2003年 URL:http://www.lib.komazawa-u.ac.jp/retrieve/kityou/ 更新頻度:その他(収録内容により随時更新)

概要	<p>所有している貴重な資料を画像化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅籍善本図録:『禅籍善本図録』(平成12年刊)所収貴重図書の画像データベース(『明版大蔵経』除く) ・貴重書庫:学内規定により指定された貴重図書である国文関係や歴史関係の古典籍をはじめ、『禅籍善本図録』所収以外の禅籍・仏書を提供 ・禅文化歴史博物館:日本曹洞宗の開祖、道元の主著『正法眼蔵』副書の巻の真蹟本の電子化 <p>◆コンテンツ総容量:152GB ◆コンテンツ総件数:277件〔件数は日本語書誌数。英文書誌は除いている〕 ※1書誌を1件と数える ◆コンテンツ増加量:40件/年</p>
利用者	<p>◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料</p> <p>◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する。</p>
構築	<p>◆システム開発方法:パッケージ利用:iLisSuef ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算</p> <p>◆予算獲得のきっかけ:本機関所蔵の『禅籍善本図録』(2003年3月刊)収載の貴重図書の全文画像公開の必要が所属母体に認められたため ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明</p>
運営	<p>◆年間運営予算:501~1000万円(駒大電子紀要含む予算) ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金</p> <p>◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システム関連業務〕</p>
技術	<p>◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:事務職員(司書) ◆準拠フォーマット:ダブリンコア</p> <p>◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD, 磁気テープ</p> <p>◆長期保存のための取組:納品はDVDであるが, 公開用サーバのコンテンツは年1回のフルバックアップで磁気テープに保存している。</p>
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:連携していない

■駒大電子紀要 (2件目/2件中)

公開年:2003年 URL:http://www.lib.komazawa-u.ac.jp 更新頻度:その他(収録内容により随時更新)

概要	<p>所属母体の学部紀要及び論集を中心に研究所等において発行された研究論文の創刊号からの目次情報と原文画像データ(近年刊行)を収録している。所属母体が過去発行した新聞を収録している。</p> <p>◆コンテンツ総容量:2GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:77件〔2009年9月現在の全文公開数は論文1,585及び新聞巻号45,書籍収録数7〕※収録誌数を1件と数える ◆コンテンツ増加量:150~200件/年</p>
利用者	<p>◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料</p> <p>◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置している。CiNiiと連携している。</p>
構築	<p>◆システム開発方法:パッケージ利用:iLisSuef ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:本機関が国立情報学研究所の研究紀要電子化事業に応じ,将来的に電子図書館を構築して情報発信することが不可欠との事業計画が所属母体に認められたため ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明</p>
運営	<p>◆年間運営予算:501~1000万円(駒澤大学電子貴重書庫含む予算)</p> <p>◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システム関連業務〕</p>
技術	<p>◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:事務職員:司書 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:納品はCD-ROMであるが,サーバのコンテンツは年1回のフルバックアップで磁気テープに保存している。</p>
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:CiNii

白百合女子大学

住所:182-8525 調布市緑ヶ丘 1 丁目 25 開設年:1979 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 250,000 冊 職員総数(非常勤を含む):124 人

回答担当:図書館総務課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②広報活動 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:1%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:システム及び電子資料担当者 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【白百合女子大学・提供アーカイブ】

■貴重書ライブラリー (1 件目/1 件中)

公開年:2000 年 URL:<http://sclib11.shirayuri.ac.jp/about/collection/rare.html> 更新頻度:その他(予算所得ごと)

概要	江戸初期～明治期の“絵本”の画像データ ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数:2,000 件※画像数を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:5 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Djvu ◆構築予算:1～100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11～50 万円
運営	◆年間運営予算:1～100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:Djvu ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

東京女子医科大学図書館

住所:162-8666 新宿区河田町 8-1 開設年:1956年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 220,000 冊 職員総数(非常勤を含む):22 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔公開以来、資料のダウンロード数は閲覧数を上回る勢いで、約 57,000 件になる〕 ②資料の保存・管理〔本学編集の学会誌が全て、近い将来リポジトリ上にデジタル保存される〕 ③新しい表現〔研究報告書類を通じて、力を入れている研究の一端が社会に広く明らかになる〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:60% ◎課題・工夫点等:NII(国立情報学研究所)の CSI 事業委託費を利用して、リポジトリの基盤を作りつつある。CSI 事業 2 年目で、過去分のデジタル化を終え、今後は、本学発行ではない一般的な雑誌の論文を中心にリポジトリ登録を進める予定である。
人員	◆運営担当者:非常勤・アルバイト,その他:図書館職員が兼務 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:専門的な職員のみで運営するのではなく、図書館のルーティンの中で仕事が進められるよう、基盤作りを行っている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,専門家等に相談 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [350 件/50,000 円] ◎課題・工夫点等:リポジトリ担当で分担し、出版社・著者の権利状況を調査の後、論文著者にメールや郵便にて許諾依頼した。著作権状況の調査は独自に行ったが、DRF や NII のデータベースを参考にした。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:本学での基礎を固め、連携はその後の課題とする。
その他 F.A.	最初に学内への PR に努め、リポジトリという言葉を知ってもらうために、講演会やアンケート、様々な学内委員会での広報活動を頻繁に行った。

【東京女子医科大学図書館・提供アーカイブ】

■東京女子医科大学学術リポジトリ:Twinkle (1 件目/1 件中)

公開年:2009 年 URL:<http://ir.twmu.ac.jp/DSpace/> 更新頻度:月 1 回程度

概要	1. 学内で編集・発行されている学術的資料 (例:東京女子医科大学雑誌,東京女子医科大学看護学会雑誌) 2. 各種研究報告書 (例:COE 報告書,科研費報告書) 3. 学内に事務局があるなど,関連深い研究会資料 4. 教育関連の資料 (例:チュートリアル課題資料) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:8,923 件 [学術論文 6,531 件,研究報告書 85 件,一般記事 71 件,教材 288 件,その他 1,948 件] ◆コンテンツ増加量:370 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:37,000 件/月 [2009 年 5 月公開開始以来,徐々にアクセス数が増えた。特に 8 月時の利用が多かった] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:わかり易いようにキーワードによる検索の他に,資料別・所属別のアクセス方法を設けた。Handle システムを導入した。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金, ◆予算獲得のきっかけ:NII(国立情報学研究所)の CSI 事業に応募 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:101~200 万円
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆運営業務の担い手:一部外部委託
技術	◆参考文献:JuNii2 ガイドライン ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット:JuNii2 フォーマット ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD,磁気テープ ◆長期保存のための取組:保存のフォーマット等は標準的なタイプを採用した ◎課題・工夫点等:登録資料のファイル容量が,あまり大きくならないように気を付ける。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH,その他:Handlenet ◆連携システム:JAIRO

東邦大学メディアネット・センター

住所:143-8540 大田区大森西 5 丁目 21-16 開設年:1931 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 460,000 冊 職員総数(非常勤を含む):47 人

回答担当:習志野メディアセンター

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②資料の保存・管理 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明(現時点でアーカイブ事業のみでの予算化は行っていない) ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:2001 年に現組織となり,情報発信,マルチメディアの教育,研究利用支援,等が業務に加わり,研究情報,研究資料のデジタルアーカイブも手掛けている。学術誌掲載の研究論文のアーカイブについては,緊急の課題とはしていない。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,他部署の者,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:メディアネットセンターとして,コンピュータ,ネットワークの専門家,図書館司書が連携して業務を進めている ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立,セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:日常業務とのバランスが難しい。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:現時点では,本学として必要なデジタルアーカイブのあり方を探っている段階。運用しているシステムは評価用のプロトタイプ,実研システムとして捉えている。
その他 F.A.	文献等についても,単純な PDF ではなく,Flash 等を積極的に取り入れている。

【東邦大学メディアネット・センター・提供アーカイブ】

■東邦アカデミックアーカイブス (1 件目/1 件中)

公開年:2006 年 URL:<http://dsp.toho-u.ac.jp:8080/DSpace/> 更新頻度:その他(適宜)

概要	教員の研究業績,研究資料を蓄積,DB化。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:54,944 件 ※メタデータを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:2001 年の組織変更により,デジタルアーカイブが業務の一部となったため ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [サーバ立上げ] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:司書・研究者本人 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:JPEG,PDF,Flash,Real Player,Flash ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD,CD-ROM,DVD ◆長期保存のための取組:HD→HD(CD-ROM,DVD) Back up
システム連携	◆外部インターフェイス:— ◆連携システム:連携していない

早稲田大学図書館

住所:169-8050 新宿区西早稲田1丁目6-1 開設年:1882年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書5,320,000冊 職員総数(常勤のみ):67人

回答担当:総務課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②資料の保存・管理 ③検索性の向上
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.5% ◆外部委託費が占める割合:100%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:貴重書管理部門・またシステム担当部門のスキル・経験 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任,専門家等に一任,専門家等に相談 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [26件/11,700円] ◎課題・工夫点等:権利問題については登録申請者に許諾処理を任せている。場合によってはその代行や補助をおこなっている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している [デジタルアーカイブに関する連携組織 (国立情報学研究所, デジタルリポジトリ連合 DRF) と協働している] ◎課題・工夫点等:国立情報学研究所との協働により JAIRO (学術機関リポジトリポータル) によるリポジトリアクセスの簡便性およびアクセス数の増加があった。また,デジタルリポジトリ連合との協働によりリポジトリに関する知識が増えた。
その他 F.A.	リポジトリについては本学独自のコンテンツ (紀要論文など) の掲載に力点を置いている。

【早稲田大学図書館・提供アーカイブ】

■早稲田大学リポジトリ (DSpace@Waseda University) (1件目/2件中) 公開年:2005年 URL: http://DSpace.wul.waseda.ac.jp/DSpace/ 更新頻度:その他(論文等の提供があり次第)	
概要	主として本学独自のコンテンツ (紀要論文, 学位論文など) を中心に収載している。 ◆コンテンツ総容量:64GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:14,110件 [学術雑誌論文59件, 学位論文1,290件, 研究成果報告書187件, 紀要論文5,740件, 会議発表論文616件, 会議発表用資料6件, 教材1,111件, テクニカルレポート・ワーキングペーパー264件, その他4,837件] ※1メタデータを1件と数える ◆コンテンツ増加量:3,500件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:124,000件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・図書館ホームページからのアクセシビリティの工夫 ・全文アクセス可能 (メタデータのものはない) ・Google Scholar/Cinii などの学術検索エンジンから検索できる
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace (オープンソース) ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:リポジトリの普及拡大に向けた国立情報学研究所による次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業の採択による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託 [主としてシステム面] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託 [システム面]
技術	◆参考文献:ウェブサイト:Digital Repository Federation ◆メタデータ作成者:目録業務担当者 ◆準拠フォーマット:JUNII2 ◆利用・提供用ファイル:PDF, MPEG, MP3 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:永続的なアクセスのためにコンテンツ一つ一つにハンドル番号を付与している ◎課題・工夫点等:テスト環境 (サーバー) でメタデータ/PDF等のチェックをしてから本番環境へロードしている。
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO/Cinii, (JAIRO/Cinii 経由で PORTA と連携)

■古典籍総合データベース (2 件目/2 件中)

公開年:2005 年 URL:http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/index.html 更新頻度:月 1 回程度

概要	早稲田大学図書館が所蔵する全ての古典籍(古書・貴重書・古文書等)を対象とし,フルテキスト・精細画像を学内外の制限なく公開している。現在も継続中。 ◆コンテンツ総容量:4TB ◆コンテンツ総件数:76,946 件※書誌 1 件を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:20,000 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:1,000,000 件/月 [コンテンツの増加に伴ない年々増加の一途] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:全ての書誌項目を各種検索エンジンの索引化の対象としている。アーカイブ内に WEB 展形式の主要資料のページを複数設定し,使いやすくしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:— ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [書誌作成・撮影・HP 作成] ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:— ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [書誌作成・撮影・HP 作成]
技術	◆参考文献:— ◆メタデータ作成者:一次データは外部業者 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:CR2 (RAW データ) ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

東京聖栄大学図書館

住所:124-8530 葛飾区西新小岩 1 丁目 4-6 開設年:2005 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 48,200 冊 職員総数(非常勤を含む):2 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔館の知名度が上がった〕 ②資料の保存・管理 ③検索性の向上
所蔵資料の 収録率	0.014%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:国立情報学研究所へ依頼
人員	◆運営担当者:その他:国立情報学研究所 ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:他部署に一任 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔国立情報学研究所〕 ◎課題・工夫点等:連携によって助かっている。
その他 F.A.	—

【東京聖栄大学図書館・提供アーカイブ】

■聖徳栄養短期大学紀要・東京聖栄大学紀要 (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:<http://ci.nii.ac.jp/> 更新頻度:年 1 回程度

概要	本学教員の研究紀要 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:その他:国立情報学研究所 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔国立情報学研究所〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔国立情報学研究所〕
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明

神奈川工科大学附属図書館

住所:243-0292 厚木市下荻野 1030 開設年:1985年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 200,000 冊 職員総数(常勤のみ):1人

回答担当:図書館事務課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔大学内研究報告刊行初年度からの公開 H20年度アクセス数 15,000件〕 ②新しい表現〔地域郷土関連資料をデジタル化し一部公開を開始(雨岳文庫)〕 ③検索性の向上〔研究報告の一括検索を実現〕
所蔵資料の 収録率	0.004%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.006% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:日本学術振興会の科学研究費補助金研究成果公開促進費補助対象事業の一環として、資料のデジタル化に取り組んでいる。
人員	◆運営担当者:その他:業務委託先担当者が運営を担当している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:専門業者との交流による人材育成を実施している
権利処理	◆処理方法:専門家等に相談 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔0件/0円〕 ◎課題・工夫点等:権利問題に関しては現在まだ検討段階。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【神奈川工科大学附属図書館・提供アーカイブ】

■神奈川工科大学学術情報リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://www.kait-r.com:8080/DSpace/> 更新頻度:年1回程度

概要	学内研究報告の初年度からのフルテキストデータ(PDF),地域郷土資料(雨岳文庫) ◆コンテンツ総容量:3.3GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:960件〔研究報告950件,画像データ10件〕 ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:1,250件/月〔増加傾向にある模様〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:CiNii連携,Googleからの検索可。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:ほとんど外部委託
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:書店 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:PDF ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:研究報告だけでなく,収蔵コレクションのデジタル化による一般公開を目指している
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:NII CiNii

東洋英和女学院大学図書館

住所:226-0015 横浜市緑区三保町 32 開設年:1989年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 280,000 冊 職員総数(非常勤を含む):14人

回答担当:雑誌係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔教員が授業で学生に紹介するなどの効果があった〕 ②検索性の向上〔学外から論文についての問い合わせが増えた〕 ③資料の保存・管理〔印刷物との共存により保存性が強化された〕
所蔵資料の 収録率	0.1%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:予算をはじめとして運営の取り組みが未定なので CiNii の登録システムを利用して本学紀要を登録している。また本学院生の博士論文のデジタル化に向けて著者の許諾を得る作業を先行して行っている。
人員	◆運営担当者:その他:現在は運営まで至っていない ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:本学紀要に関してはデジタル化を前提としているという共通認識を得て電子化を行っているが,今後は紀要の投稿規程に明記するようにしたいと思っている。博士論文は著者の連絡先が不明になることを恐れて,論文提出時に許諾を得るように努力している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【東洋英和女学院大学図書館・提供アーカイブ】

■人文社会科学論集 (1件目/2件中)

公開年:2004年 URL:<http://ci.nii.ac.jp/> 更新頻度:年1回程度

概要	本学教員の研究成果・論文掲載 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:6件〔雑誌6号〕 ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:2件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館ホームページのトップページに入口を配置している。
構築	◆システム開発方法:その他: CiNii 登録システム ◆構築予算〔理由〕:0円〔CiNii 登録システムを利用したため〕 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔印刷所に原稿の PDF ファイル提供を依頼〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔紀要の印刷費の範囲で行った〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔紀要の印刷費の範囲で行うことになっている〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:雑誌係 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■東洋英和女学院大学紀要 (2件目/2件中)

公開年:2005年 URL:<http://ci.nii.ac.jp/> 更新頻度:年1回程度

概要	本学教員・院生の研究成果・論文掲載。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:5件〔雑誌5号〕 ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:6件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:図書館ホームページのトップページに入口を配置している。
構築	◆システム開発方法:その他: CiNii 登録システム ◆構築予算〔理由〕:0円〔CiNii 登録システムを利用したため〕 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔印刷所に原稿の PDF ファイル提供を依頼〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔紀要の印刷費の範囲で行った〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔紀要の印刷費の範囲で行うことになっている〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:雑誌係 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

新潟国際情報大学

住所:950-2292 新潟市西区みずき野3丁目1-1 開設年:1994年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書100,000冊 職員総数(非常勤を含む):137人

回答担当:情報センター課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔学外からのアクセスにより, 本学の研究内容を周知することができた〕 ②検索性の向上〔全文検索が可能になり, 利用者サービスが向上した〕 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合: 不明 ◆外部委託費が占める割合: 不明
人員	◆運営担当者: 知識の多い職員 ◆職員のスキル等: 前職がシステムエンジニアでデジタルアーカイブのシステム更新等運用工程の一部が担える ◆人材育成の取組: セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法: 他部署に一任 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕: 把握している〔20件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕: 連携している〔地域共同リポジトリに参加〕
その他 F.A.	—

【新潟国際情報大学・提供アーカイブ】

■未定 (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:http://www.nuis.ac.jp/ic/library/kiyou/kiyou_top.htm 更新頻度:年数回程度

概要	紀要データベース ◆コンテンツ総容量: 不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕: 162件〔全て紀要論文〕 ◆コンテンツ増加量: 20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数: 不明 ◆館内等利用者数: 不明 ◆利用条件: 無料 ◎課題・工夫点等: アーカイブへの入口を大学のホームページの複数個所から入れるように配置する。
構築	◆システム開発方法: 独自に開発 ◆構築予算: 301~500万円 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ: 開学10年事業の一環として ◆構築業務の担い手: 内部の人材 ◆コンテンツ作成費: 1~10万円
運営	◆年間運営予算: 不明 ◆予算の出所: 自前の予算 ◆運営業務の担い手: 内部の人材
技術	◆参考文献: ない ◆メタデータ作成者: 図書館職員 ◆準拠フォーマット: 独自の基準 ◆利用・提供用ファイル: PDF ◆保存用ファイル: — ◆記録媒体: HD ◆長期保存のための取組: —
システム間連携	◆外部インターフェイス: 利用していない ◆連携システム: 連携していない

岐阜女子大学図書館

住所:501-2592 岐阜市太郎丸 80 開設年:1968 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 120,000 冊 職員総数(常勤のみ):3 人

回答担当:図書館事務課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔紀要論文 pdf を図書館サーバに置き, CiNii だけでなく HP からもたどれるようになって いる〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:設置母体の組織に文化情報研究センターがあり, デジタルアーカイブに関する事業はそ ちらで行っており, 図書館運営のなかに積極的に位置づけられていないため, 予算も人員も確保しづらいのが 現状。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:司書分野(近世・近代の詩集書誌)の個人サイトにお いて, 独学スキルにてデジタルアーカイブ作りをしており, 図書館サイトでもそれを援用している ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等:設置母体の組織に文化情報研究センターがあり, デジタルアーカイブに関する事業はそ ちらで行っており, 図書館運営のなかに積極的に位置づけられていないため, 予算も人員も確保しづらいのが 現状。
権利処理	◆処理方法:他部署に一任, 著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [15 件/0 円] ◎課題・工夫点等:紀要論文のデジタル公開については「投稿規定」のなかに公衆送信権に係る著作権は大学 に帰属する旨を明文化しておいた。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:とりあえず大学内組織である文化情報研究センターとの連携(関係)がはっきりすること が先決問題と考えている。
その他 F.A.	現状維持であれば, 無支援の現体制でまかなっていける状況である。

【岐阜女子大学図書館・提供アーカイブ】

■ 1.岐阜女子大学紀要 2.その他 (1 件目/1 件中)

公開年:2000 年 URL:<http://libwww.gijodai.ac.jp/kiyou.html> 更新頻度:年 1 回程度年

概要	1. 本学紀要の pdf 画像(29 号以降) 2. 館蔵の地元関係観光地図(鳥瞰図)など若干 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:178 件〔公開論文 170 件+地図類 8 件〕 ◆コンテンツ増加量:15 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:地図(鳥瞰図)はかなり拡大したものを up している。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Netscape・Mozilla 旧版に附属する Composer ◆構築予算〔理由〕:0 円〔図書館システムのためのサーバ空き領域を利用〕 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔論文の pdf 化〕 ◆コンテンツ作成費:1~10 万円
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔論文の pdf 化は印刷業者から「副産物」として提出させており, 見積は切り分 けていない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員(司書) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

愛知学院大学図書館情報センター

住所:470-0195 日進市岩崎町阿良池 12 開設年:1950 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 856,000 冊 職員総数(非常勤を含む):36 人

回答担当:庶務係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔本学所蔵貴重資料の一部の公開になっている〕 ②新しい表現〔資料解説がすべてのものに付いていない〕 ③広報活動〔掲載資料がまだ少ないため、継続的に進める必要がある〕
所蔵資料の 収録率	1%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ化の予算は特別として計上するため、継続性に課題がある。所蔵価値の重要性、広報機能等その利点を財政部に報告し、予算確保に努めている。
人員	◆運営担当者:その他:外部委託にて ◆人材育成の取組:専門家の指導 ◎課題・工夫点等:貴重資料についての購入経緯や資料知識が乏しい専任職員が多くなってきている。館内においても貴重資料を取り扱える人材を育てることが課題である。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:— ◎課題・工夫点等:現在は著作権フリーの資料のみデジタル化している。紀要等の学内刊行物については、今後投稿規程上(将来の実現化を含め)デジタル化についての承諾項目を入れるなど対応していく必要がある。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:同系統の資料保有館との連携や技術支援、相互リンクなど将来的に構築できるとよい。
その他 F.A.	一般的な検索エンジンでヒットしない資料をアーカイブ化していく。貴重資料の全てを全ページをアーカイブ化できるわけではないので、貴重資料の中でも本学の蒐集しているもので特色のあるものからデジタル化をしている。

【愛知学院大学図書館情報センター・提供アーカイブ】

■愛知学院大学 図書館情報センター 貴重資料デジタルライブラリー (1 件目/1 件中)

公開年:2008 年 URL:<http://kicho.lib.agu.ac.jp/index.html> 更新頻度:年 1 回程度

概要	社会科学および日本・アジア関係、印刷史関係など図書館情報センター貴重資料室所蔵の資料を紹介している。中でも「百万塔陀羅尼」は、360°ビューワーより立体的に閲覧できる。また、西洋古版地図も多数点掲載している。 ◆コンテンツ総容量:1.27GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:324 件 [社会科学 7 件 5, 哲学・思想・宗教・歴史 110 件, 文学・語学・事典類 13 件, 自然科学 2 件, モリスコレクション 61 件, 印刷史 9 件ほか] ※1 タイトルを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する。Google など検索エンジンから入りやすい工夫をする。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:法人への特別予算申請後、承認を得た ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [ページ作成, アップ, 写真撮影] ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [内部運営のため] ◆運営業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [ページの管理すべて]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:整理係 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等: ・サムネイル画像から閲覧できる仕組みになっている。 ・(課題) OPAC 検索からデジタルデータへのリンクが張れるとよい。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

名古屋女子大学学術情報センター

住所:467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3丁目40 開設年:1949年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書242,000冊 職員総数(非常勤を含む):13人

回答担当:大学図書館

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔データベースと共に書誌整備を行ったことで詳細な検索が可能となった〕 ②資料の保存・管理〔資料電子化を行い保存・管理が達成できた〕 ③広報活動〔本学所蔵の貴重資料を公開したことで広く利用に供せた〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:その他:現在は行っていない ◆人材育成の取組:その他:現在は行っていない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:処理は発生していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【名古屋女子大学学術情報センター・提供アーカイブ】

■名古屋女子大学所蔵芝居番付データベース (1件目/1件中)

公開年:2000年 URL:<http://libweb2.nagoya-wu.ac.jp/shibai/> 更新頻度:その他(2000年完成時から行っていない)

概要	江戸期から明治期の歌舞伎,浄瑠璃を中心とした芝居番付資料2960点を収録 ◆コンテンツ総容量:3.5GB ◆コンテンツ総件数:2,960件 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:不明〔開設からの利用件数は9年間で14,029件〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:501~1000万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:0円 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:— ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:国立国会図書館テーマ別調べ案内

豊橋創造大学附属図書館

住所:440-8511 豊橋市牛川町松下20-1 開設年:1996年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書105,000冊 職員総数(非常勤を含む):5人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔ILL業務の簡素化〕 ②広報活動 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:前職がシステムエンジニアでデジタルアーカイブのデータコンテンツ作成やシステム更新等運用工程の一部が担える ◆人材育成の取組:専門家の指導,セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【豊橋創造大学附属図書館・提供アーカイブ】

■豊橋創造大学紀要 (1件目/2件中)

公開年:2002年 URL:<http://www.sozo.ac.jp/slic/kiyou.html> 更新頻度:年1回程度

概要	豊橋創造大学および関連する研究者による学術研究・調査の成果を収載する学術論文集。主として同大学の教育及び経営,会計,情報をはじめ,文学,言語,心理学など,幅広い領域の研究論文を収録 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:13件 ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔データ作成,ウェブページ構築〕
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■豊橋創造大学短期大学部研究紀要 (2件目/1件中)

公開年:2002年 URL:<http://www.sozo.ac.jp/slic/kiyou.html> 更新頻度:年1回程度

概要	豊橋創造大学短期大学部の教職員による日常の研究成果を収載する学術論文集 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:15件 ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔データ作成,ウェブページ構築〕
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

名古屋文理大学附属図書館

住所:492-8520 稲沢市稲沢町前田 365 開設年:1994 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 70,495 冊 職員総数(常勤のみ):5 人

回答担当:図書情報センター

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②調査研究用 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:ホームページ管理者がFTPにアップロードしている ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:他部署に一任 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [16件/0円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【名古屋文理大学附属図書館・提供アーカイブ】

■大学紀要 (1 件目/1 件中)

公開年:2005 年 URL:<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/information/memoir.html> 更新頻度:年 1 回程度

概要	名古屋文理大学紀要 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:65 件 [論文 65 件] ※論文 1 本を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:20 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:開発物なし ◆構築予算[理由]:0 円 [すでにあるものを利用] ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [印刷時の原稿を PDF 化] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [印刷時の原稿の PDF 化]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:未使用, PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:磁気テープ ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

愛知東邦大学図書館

住所:465-8515 名古屋市名東区平和が丘3-11 開設年:1981年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書92,000冊 職員総数(非常勤を含む):4人

回答担当:学務部図書館課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔実施したばかりで成果・効果は判断することはできない〕 ②資料の保存・管理〔実施したばかりで成果・効果は判断することはできない〕 ③検索性の向上〔実施したばかりで成果・効果は判断することはできない〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:前職がシステムエンジニアだが、デジタルアーカイブの経験は少ない ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブに関する専門知識の取得が困難。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【愛知東邦大学図書館・提供アーカイブ】

■東邦学誌 (1件目/1件中) 公開年:2009年 URL: http://www.aichi-toho.ac.jp 更新頻度:年1回程度	
概要	研究紀要(定期刊行物) ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:1件〔定期刊行物〕 ◆コンテンツ増加量:2件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:312件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:情報課職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

同志社大学同志社社史資料センター

住所:602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入^ル 開設年:1963年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書8,600冊/所蔵品19,000点 職員総数(非常勤を含む):7人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②検索性の向上 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	30%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.005% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:2000年に新島遺品庫の貴重資料6,000点をデジタル化し、ホームページで公開した。以後は維持のみ。2010年度より、ドキュメントスキャナーを購入して資料のデジタル化を進める予定。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,その他:基本的には業者に委託している ◆職員のスキル等:担当者は業者との連携を行っている。特別なスキルは持っていない ◆人材育成の取組:その他:特に育成していない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [20件/0円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【同志社大学同志社社史資料センター・提供アーカイブ】

■新島遺品庫(アーカイブズ) (1件目/1件中)

公開年:2001年 URL:<http://joseph.doshisha.ac.jp/ihinko/> 更新頻度:その他(必要に応じて)

概要	同志社社史資料センターが所蔵する創業者新島襄の書簡,日記,ノート類,説教・演説草稿,公務記録・文書,軸物,絵画などの同志社関係資料約6,000点を収録 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:6,000件 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:業者に委託し,独自に作成した ◆構築予算:2001万円以上(約1億円) ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:創立125周年事業として ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:ほとんど外部委託
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:業者 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:新しい磁気媒体(BD)などへの継続的な移行 ◎課題・工夫点等:充足しているとは言えない運営費をいかに効率的に使うかを課題に,職員のデジタルコンテンツのリテラシー向上を図る。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

大阪大谷大学図書館

住所:584-8540 富田林市錦織北 3-11-1 開設年:1966年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 420,000 冊 職員総数(非常勤を含む):6人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔着手したばかり〕 ②広報活動〔問い合わせが増加〕 ③検索性の向上〔引用したいとの要望が増えた〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.45% ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:無理に予算計上せず,その年度で余裕ができたとき,追加で増加した(年に1資料は必ず実施することは決めている)。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:知識はほとんどないが,専門業者とのやりとりの中で本学で必要な点を選択し実施している ◆人材育成の取組:専門家の指導 ◎課題・工夫点等:専門業者を活用。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【大阪大谷大学図書館・提供アーカイブ】

■大阪大谷大学図書館 電子版貴重図書コレクション (1件目/1件中)

公開年:2007年 URL:<http://www.osaka-ohitani.ac.jp/library/precious.html> 更新頻度:年1回程度

概要	本学図書館が所蔵する貴重図書を電子版として公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数(内訳):1,174件〔書籍, 絵画, 雑誌〕 ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:Lime ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:CD-ROM版での作成が終了したことにより,電子版に移行した ◆構築業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔電子化, HPへの掲載等〕 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔電子化, HPへの掲載〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:内部職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

関西外国語大学図書館学術情報センター

住所:573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 開設年:1966年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 380,000 冊 職員総数(常勤のみ):14人

目的 〔達成状況〕	①二次利用・貸出〔本学紀要のオンライン利用ができるようになった〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	0%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:図書館システム保守経費の一部に,電子図書館システム運用の保守経費が含まれる。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:特になし ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,他部署に一任 ◆処理状況(年間処理件数/費用):把握している〔30件(1論文を1件として)/0円〕 ◎課題・工夫点等:規程の改訂により,論文提出時に電子化と公開する権利について著者から委託を受けている。
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している〔国立情報学研究所の CiNii に登録〕
その他 F.A.	—

【関西外国語大学図書館学術情報センター・提供アーカイブ】

■関西外国語大学紀要論文データベース (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:http://opac.kansaiuidai.ac.jp/elib_index.html 更新頻度:年数回程度

概要	関西外国語大学が発行する紀要に掲載された論文の全文情報を収載 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数(内訳):26件〔紀要26冊〕 ◆コンテンツ増加量:4件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:4,000件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: CiNii への登録
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:iLis-Surf (現 iLis-e-lib) ◆構築予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:図書館システム更新時に,電子図書館システム (iLis Surf) を導入した。 ◆構築業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔電子図書館システムの構築〕 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔電子図書館システムの保守〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館員 ◆準拠フォーマット: CiNii ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム: CiNii, (CiNii を通じて PORTA と連携)

梅花女子大学図書館

住所:567-8578 茨木市宿久庄 2 丁目 19-5 開設年:1964 年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 362,000 冊 職員総数(非常勤を含む):7 人

回答担当:図書館情報センター・メディアグループ

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔(財)高度映像情報センターの公共ホームページ good site として紹介された〕 ②新しい表現〔明治期の珍しい書物「ちりめん本」をデジタルブック化した〕 ③広報活動〔「ちりめん本」デジタル化の記事が日経新聞文化欄に掲載された〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:3% ◆外部委託費が占める割合:— ◎課題・工夫点等:本年度(2009年)までは、文部科学省からの補助金を受けていた。来年度(2010年)から新たなテーマで補助金獲得を目指す。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:前職がシステム関係の仕事で、デジタルアーカイブを含めた学内のデータ・コンテンツ作成やシステム更新等運用工程全般を担える職員が運営に携わっている ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:本学のデジタルアーカイブに対する取組みは、まだまだ緒に就いた段階で一材育成は進んでおらず、今後の予定も定かではない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:「権利問題」に関しては、できるだけそのような問題が発生しにくい学内で処理できる範囲にとどめている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【梅花女子大学図書館・提供アーカイブ】

■総合学術ポータルサイト「学び舎」デジタルコンテンツ (1 件目/1 件中)

公開年:2006 年 URL:<http://manabiya.baika.ac.jp/el/index.php> 更新頻度:その他(修正が必要となったとき)

概要	日本で唯一の児童文学の研究学科である児童文学科の学生の卒業制作作品(絵本)をデジタルブック化したものが好評であり、明治期の書物(ちりめん本)をデジタル化したものも貴重な資料として評価していただいている。講義ライブラリーもユニークな講義内容となっている。 ◆コンテンツ総容量:6GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:211 件[動画ライブラリー7 本、講義ライブラリー12 本、コンテンツライブラリー(動画8 本、絵本10 冊、文書11 件、書籍163 冊)] ◆コンテンツ増加量:50 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:145 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金、◆予算獲得のきっかけ:文部科学省の2004 年度「サイバーキャンパス整備事業」に本学のプロジェクトが採択された。 ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:1~10 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金、 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:FLASH, FLASH, MP3 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

武庫川女子大学附属図書館 (分館分室を含む)

住所:663-8558 西宮市池開町 6-46 開設年:1949年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 580,000 冊 職員総数(非常勤を含む):16人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔初期の目的は達成した。今後の課題はコンテンツの充実〕 ②新しい表現〔初期の目的は達成した。今後の課題はコンテンツの充実〕 ③広報活動〔初期の目的は達成した。今後の課題はコンテンツの充実〕
所蔵資料の 収録率	0.02%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.7% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:リポジトリという言葉を知ってもらい、どういうものかを広く伝える努力をしている段階である。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:図書館システムの導入の際にもメーカーとの交渉にあたった経験があり、専門的な知識は独自に調べながら話を進めている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:現状では他との兼務であるが将来的には専門化が必要である。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料,その他:許諾手続きのための書式を作成中 ◆処理状況:その他:許諾が必要なものはまだ扱っていない ◎課題・工夫点等:問題の少ない学内刊行物と貴重書に取り組み始めた段階。許諾手続きの書式を作成中であり,今後,先行館を参考にして搭載を始める予定。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等—的および経費的な面で自立立ち上げが困難な機関には有効な方法だと思う。
その他 F.A.	着実に立ち上げることを目指し情報収集につとめ先行例を参考にしたが,学内ネットワーク部門との調整に手間取った。

【武庫川女子大学附属図書館・提供アーカイブ】

■武庫川女子大学リポジトリ (学術成果コレクション) (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://libir.mukogawa-u.ac.jp/DSpace/> 更新頻度:月1回程度

概要	紀要,貴重書 ◆コンテンツ総容量:780GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:413件〔紀要372件,貴重書41件〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:大学のホームページに入口を作ってもらった。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:予算ヒアリングにおける上層部の関心と理解 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔画面作成とコンテンツ入力〕は自機関 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔現在までの所,既デジタル化分のみを登載〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔前年度分を繰り越し〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:担当業務を限定せず指名した兼務者 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア, j unii2 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:連携していない

環太平洋大学附属図書館

住所:709-0863 岡山市東区瀬戸町観音寺 721 開設年:2007年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 38,000 冊 職員総数(非常勤を含む):3人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔リポジトリへのアクセス数が増加している〕 ②検索性の向上〔教員から自著の紀要論文の確認が手軽にできるとの声があった〕 ③新しい表現〔紀要論文以外の資料については模索段階〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:岡山大学主導の下、「岡山共同リポジトリ事業」に参加しているため、経費は発生していない。
人員	◆運営担当者:その他:図書館司書が岡山大学の専門職員の指導を受けている ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:専門家の指導
権利処理	◆処理方法:権利者との信頼関係,その他:現在は研究紀要のみ対象としているため、今のところ問題はない ◆処理状況:その他 ◎課題・工夫点等:紀要編集委員長に著作権に関して確認をしながら進めている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔システムの構築、運用を岡山大学が行っている〕 ◎課題・工夫点等:岡山共同リポジトリ事業に参加し、岡山大学主導のもとに研究紀要のリポジトリ化を行っている。本学のみで立ち上げるには経費等負担が大きく実現は困難であったと思われるが、このような画期的な事業を岡山大学との連携によって実現できたことは有り難いことと考える。
その他 F.A.	—

【環太平洋大学附属図書館・提供アーカイブ】

■環太平洋大学研究成果リポジトリ OCEAN (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://repository.ipu-japan.ac.jp/> 更新頻度:年1回程度

概要	環太平洋大学研究紀要 創刊号,第2号 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:29件〔研究紀要論文〕 ◆コンテンツ増加量:15件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:371件/月〔2009年4月から正式公開している。利用数は月を追うごとに増加している〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:附属図書館のHP上から簡単にに入れるよう設定をしている。
構築	◆システム開発方法:その他:岡山共同リポジトリ事業 ◆構築予算〔理由〕:0円〔岡山共同リポジトリ事業参加のため〕 ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔管理運営〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館司書 ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIR0, CiNii

広島経済大学図書館

住所:731-0192 広島市安佐南区祇園5丁目37-1 開設年:1967年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書410,000冊 職員総数(非常勤を含む):10人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②検索性の向上 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:図書館業務を担当している者が兼務しており、ほとんど専門的知識は持っていない ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔広島県大学共同リポジトリに参加〕
その他 F.A.	—

【広島経済大学図書館・提供アーカイブ】

■広島県大学共同リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/13> 更新頻度:年数回程度

概要	学内紀要論文, 叢書, 会議等発表資料 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:962件〔学内紀要論文931件, 叢書25件, 発表資料5件, その他1件〕 ◆コンテンツ増加量:480件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:7,041件/月〔不明〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:その他:NIIのCSI委託事業費 ◆予算獲得のきっかけ:CSI事業に応募 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔共同リポジトリの事務局(広大)〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:その他 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔内容:システム管理, データ入力〕
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:アルバイト ◆準拠フォーマット:OAI_DC, junii2, ETD_MS ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, Junii2

広島工業大学附属図書館

住所:731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1 開設年:1972年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書240,000冊 職員総数(非常勤を含む):13人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔少なからずダウンロードされており、実施以前に比べると成果物の利用は拡大した〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	0%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:共同構築により予算への負担は大きく軽減している。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:オープンソースの機関リポジトリシステムに対して簡易なカスタマイズを行うことができる。主にILLの業務を担当している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:関連のワークショップや勉強会に積極的に参加している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔200件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルアーカイブの共同構築・運営〕
その他 F.A.	管理権限の分割など、共同運営のために必要なシステムのカスタマイズを行った。

【広島工業大学附属図書館・提供アーカイブ】

■広島県大学共同リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/> 更新頻度:年数回程度

概要	構成員が生産した紀要・雑誌掲載論文や講演論文 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:347件〔会議発表論文36件、学術雑誌論文19件、研究報告書1件、紀要論文291件〕※論文を1件と数える ◆コンテンツ増加量:200件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:オープンソースソフトウェア ◆構築予算〔理由〕:0円〔機器等の購入は他の機関が行った〕 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔コンテンツのPDF化とメタデータの作成〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館スタッフ ◆準拠フォーマット:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:JAIRO

広島修道大学

住所:733-3195 広島市安佐南区大塚東1丁目1-1 開設年:1960年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書720,000冊 職員総数(非常勤を含む):669人

回答担当:図書館図書課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②二次利用・貸出〔国立国会図書館からDnaviへのリンク依頼があった〕 ③広報活動
所蔵資料の 収録率	(極僅か)
運営予算	◆年間予算に占める割合:(極僅か) ◆外部委託費が占める割合:(極僅か) ◎課題・工夫点等:図書館の特別事業として、別枠予算で取り組んでいる「明治法曹文庫」構築の一環として、デジタルアーカイブを構築している。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:前職がシステム担当部局の職員が担当している。デジタルアーカイブ構築の経験は無いが、コンテンツのデジタル化や公開システムの作成等は外部委託して対応している。担当職員は、デジタルアーカイブ構築のため、外部委託業者との調整の仕事を担っている ◆人材育成の取組:その他:業務の多くを外部委託している ◎課題・工夫点等:上記のように、システム部門経験のある職員が現在は担当している。今後は外部専門機関等のセミナーや講習会等に職員を派遣し人材育成を行う事も検討したい。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:著作権フリーの資料が対象 ◎課題・工夫点等:現在は、著作権フリーの資料のみをデジタルアーカイブしているので、「権利問題」は発生していない。デジタルアーカイブ構築を本格化させるためには、著作権等の権利問題を処理できる職員の育成が不可欠。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:本学が構築している明治法曹文庫デジタルアーカイブは、本学独自の取り組みである「明治法曹文庫」構築の派生物である。現状ではデジタルアーカイブにおける他機関との連携は考えていない。
その他 F.A.	本学のデジタルアーカイブ構築は、業務の多くを外部委託して行った、このスタンスは今後も変わらないと思う。

【広島修道大学・提供アーカイブ】

■明治法曹文庫デジタルアーカイブ (1件目/1件中)

公開年:2007年 URL:<http://www-lib.shudo-u.ac.jp/home/meiji/meiji.html> 更新頻度:年数回程度

概要	中国地方の裁判所から譲与された資料の一部を画像化。西洋法をモデルとした法律が整備されるまでの法源を窺い知ることができる。最近では、国立国会図書館の近代デジタルライブラリーにも収録されていない『布告全書』明治4年[版]、明治5年[版]も公開している。 ◆コンテンツ総容量:6GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:83件〔書籍83冊〕 ◆コンテンツ増加量:28件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入り口をホームページの見やすいところへ配置している。アーカイブの動作を工夫し、拡大して見えるようにしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:図書館の特別事業として、別枠予算で「明治法曹文庫」を構築することになった。デジタルアーカイブはその派生物である ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔コンテンツのデジタル化 公開システムの構築〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔公開サーバーの保守のみ外部委託〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:教員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:現在のデジタルアーカイブは、図書システムの公開サーバーを利用して公開している。図書システムは定期的に更新されるために、専用の公開サーバーの構築とデータの保存が課題。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

広島女学院大学図書館

住所:732-0063 広島市東区牛田東4丁目13-1 開設年:1949年 設置母体:私立
 所蔵資料:蔵書230,000冊 職員総数(常勤のみ):7人
 回答担当:情報サービス係参考担当

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔検索でヒットするため,広く利用できる〕 ②資料の保存・管理〔不明〕 ③活動成果の普及〔不明〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:カウンター一部として作業しており,なかなかはかどらない。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:機関リポで共通研修会に参加など ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等: ・兼務であること。 ・共同のメーリングリストなどで質問できる環境がある。 ・孤独にならないし,方向性を見失うことが少ない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,権利者との信頼関係 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:許諾書を作成し,著作権者に送付する。
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している〔HARP〕 ◎課題・工夫点等:機関リポジトリとしての連携が,色々な面で大きな力となっている。
その他 F.A.	・CSI事業の補助金を受け,共同で遡及にも対応できた。 ・小規模図書館にとって,研修会他,共同でのメリットは大きい。

【広島女学院大学図書館・提供アーカイブ】

■HARP (1件目/1件中) 公開年:2008年 URL: http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/ 更新頻度:その他	
概要	紀要類他, 図書を含む学内出版物 ◆コンテンツ総容量:6GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:236件〔図書6冊, 雑誌記事他論文等236件〕 ◆コンテンツ増加量:150件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:1,400件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ハーベスティング。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:CSI ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔システム構築〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆運営業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔システム構築〕
技術	◆参考文献:DSpace利用マニュアル ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:OAI-DC(シングルダブリュンコア), Junii2, ETD-MS ◆利用・提供用ファイル:一, PDF ◆保存用ファイル:一 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:HARP共同のサーバーを別に設けている。 ◎課題・工夫点等:HARP共同の中で, チームを組んで担当している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, JUNI2

広島国際大学図書館

住所:739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36 開設年:1998年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 131, 229 冊/所蔵品 5, 621 点 職員総数(非常勤を含む):19 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔始めて2年あまりのため効果はまだ出ていない〕 ②資料の保存・管理〔半永久的に保存・管理できたと考えている〕 ③検索性の向上〔向上した〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:県内の大学で共同構築運営することにより,僅かな予算で維持できている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,その他:他大学と共同運営のため,スキルのある大学からアドバイスを受けている ◆職員のスキル等:メタ・データ,コンテンツ等の作成 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:担当者は他業務と兼務であるが,他大学と共同アーカイブのため,共同研修会に参加したり,メーリングリストにおいて,質問し回答を得る方法でスキルを高めている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,権利者との信頼関係 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔40件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔広島県大学共同リポジトリ〕 ◎課題・工夫点等:他大学と共同でデジタルアーカイブを立ち上げている。
その他 F.A.	—

【広島国際大学図書館・提供アーカイブ】

■広島県大学共同リポジトリ (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp> 更新頻度:年数回程度

概要	学内紀要論文, 学術論文 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:78件 ◆コンテンツ増加量:40件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:641件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:Googleなど検索エンジンから入りやすい工夫をしている。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:DSpace ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:CSI事業による ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔システム構築〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔データ, コンテンツ作成以外の全て〕
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:図書館職員 ◆準拠フォーマット:OAI_DC, junii2, ETD_MS ◆利用・提供用ファイル:不明, PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, junii2

梅光学院大学図書館

住所:750-0011 下関市向洋町1丁目1-1 開設年:無回答年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書330,000冊 職員総数(非常勤を含む):4人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔ホームページアクセス件数が増加した〕 ②二次利用・貸出 ③収蔵スペース縮小
所蔵資料の 収録率	(1%以下)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0%(計上されていない) ◆外部委託費が占める割合:0%(計上されていない) ◎課題・工夫点等:他大学機関と共同構築であり,助成金事業で運営している。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:NII主催「学術ポータル担当者研修」を受講し,共同リポジトリ機関内で担当者勉強会を行っている。大学内では運用業務を担当している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:兼務のため作業が滞ることが問題。
権利処理	◆処理方法:他部署に一任 ◆処理状況:その他:学内学会に一任している
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している〔山口県大学共同リポジトリ〕
その他 F.A.	—

【梅光学院大学図書館・提供アーカイブ】

■山口県大学共同リポジトリ (1件目/1件中) 公開年:2009年 URL: http://ypir.lib.yamaguchi-u.ac.jp/ 更新頻度:年1回程度	
概要	大学内発行の紀要の論文を掲載している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:693件〔収録コンテンツ内の〕 ◆コンテンツ増加量:15件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:200件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:Google等の検索エンジンから入りやすい工夫をする。ホームページの見やすいところに配置している。
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:県大学図書館協議会の事業として申請したこと ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:諸機関が出している報告書など ◆メタデータ作成者:図書館司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:OpenURL ◆連携システム:CiNii

福岡大学

住所:814-0180 福岡市城南区七隈8丁目19-1 開設年:1969年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書1,728,891冊 職員総数(非常勤を含む):4,431人

回答担当:図書部学術情報課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔2004年私立大学図書館協会賞受賞。コンテンツに対する閲覧願などが増えた〕 ②検索性の向上〔OPAC以上に詳細な検索ができるため、コンテンツに対する問合せが増えた〕 ③広報活動〔展示会を開催し多くの方に来場いただいた〕
所蔵資料の 収録率	0.1%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:図書館で所蔵している貴重書をデジタル化し一般公開することで、研究者の学術文化資料としての利用や地域の人々に閲覧してもらうことを目的とした、デジタルアーカイブに必要な予算を計上し、予算が承認された。また、併せて年度ごとに私立大学経常費補助金の申請も行っている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員、研究者等専門家 ◆職員のスキル等:情報処理関連の知識は業務に携わりながらスキルアップし、専門業者とのやりとりの中からも吸収している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:情報処理や資料に対する知識が必要であるが、習得するための機会が少ない。情報処理部門や研究者からのサポートが常に必要である。
権利処理	◆処理方法:その他:全てのデジタルコンテンツは貴重書の位置づけであり、原文は著作権フリーとなっている。画像の再利用については、許諾が必要となっている ◆処理状況:その他:著作権が発生する資料はデジタル化していない ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブとして作成したものは、著作権フリーになっている。ただし、著作権処理を必要とする資料を対象とする場合、その対応については今後の検討課題となっている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:現在構築したものについては、他機関との連携はしていないが、今後連携する必要性・可能性について検討する。
その他 F.A.	構築する際に、コンテンツの追加や更新が簡単に行えるように考慮して作りこみを行った。利用者に対しては、興味が深まるように概要を紹介する簡単な動画を作成し、検索方法を五十音順一代別で行えるなどインターフェースに配慮した。また、デジタルアーカイブ作成時には、対象となる資料に詳しい教員に助言や指導を受けている。

【福岡大学・提供アーカイブ】

■電子図書館 (1件目/2件中)

公開年:1998年 URL:<http://www.lib.fukuoka-u.ac.jp/e-library/e-librarytop.html> 更新頻度:年1回程度

概要	本学で所蔵している貴重書コレクションの画像、目録情報、全文テキスト等を公開している。公開している貴重書コレクションは、江戸・明治漢詩文コレクション、江戸時代・九州文献コレクション、グリム兄弟コレクション(『グリム童話集第二版』全文テキストデータベースを含む)、ヨーロッパ法コレクション(『ローマ法大全』の全文画像データベースを含む)、炭鉱札コレクション、ウィリアム・モリスコレクション、オリンピック関係図書コレクション、である。 ◆コンテンツ総容量:5.1GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:2,200件〔書籍1,870冊、雑誌1号、その他(私札)326点〕 ◆コンテンツ増加量:200件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:1,100件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:遅い回線でもストレスなく閲覧できるようにサムネイル画像も用意するようにしている。目的の画像を探しやすいように検索方法を工夫している。本学発行の広報誌で紹介、展示会の開催を行うことにより、利用者拡大を図っている。
構築	◆システム開発方法:その他:アーカイブは複数コレクションの集合体であるため、それぞれのコレクションで仕様が異なる。従って、独自に開発したものもあれば、パッケージソフトを利用したものもある。利用したソフトは、硝子ビュー、FLIPPER Maker、Gigaview、HG/WWDS2.3、である ◆構築予算:2001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金、 ◆予算獲得のきっかけ:図書館で所蔵している貴重書「グリム兄弟コレクション」を初めてデジタル化し図書館ホームページで一般公開した。研究者の学術文化資料としての利用促進や地域の人々にも閲覧が可能となった。その後も継続して、デジタルアーカイブに必要な予算を計上し、承認されている ・「創立75周年記念事業」の一環として ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔コンテンツ撮影など〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算、国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:「図書館雑誌」「情報の科学と技術」などの学術雑誌に掲載される論文など ◆メタデータ作成者:担当者または委託業者 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF、JPEG、WMV ◆保存用ファイル:TIF、JPEG ◆記録媒体:HD、MO、CD-ROM、DVD ◆長期保存のための取組:どの記録媒体でもデータ劣化は避けられない。対応としては、古い記録媒体から新しい記録媒体への変換作業と機材が必要であるが、現時点对処できていない。新図書館(H24年4月開館予定)では、保存に適したスペースや必要機材を確保して対応したい。 ◎課題・工夫点等:貴重書の現物そのものを、利用者に見てもらえることは難しいので、「Gigaview」や「硝子ビュー」などの閲覧ソフトを使うことで、現物のイメージを少しでも伝えられるように考えている。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

■図書館報 (2 件目/2 件中)

公開年:1999 年 URL:http://www.lib.fukuoka-u.ac.jp/annai/kanpo/kanpo.html 更新頻度:年数回程度

概要	<p>冊子体の図書館報の Web 版。検索できるように、テキストデータにしている。</p> <p>◆コンテンツ総容量:0.05GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:117 件 [逐次すべて図書館報 117 件]</p> <p>◆コンテンツ増加量:3 件/年</p>
利用者	<p>◆ウェブアクセス数[増減傾向]:250 件/月 [年間通してアクセス回数は、ほぼ一定である]</p> <p>◆館内等利用者数:1,300 人/月 ◆利用条件:無料</p> <p>◎課題・工夫点等:図書館報は当初冊子体で配布していたが、利用者拡大のため Web 版も作成し、図書館ホームページからも閲覧できるようにしている。この Web 版は、利用者が文字の大きさを自由に変えることができるというアクセシビリティにも配慮している。</p>
構築	<p>◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0 円 [機材は既存のものを流用し、コンテンツは職員が作成]</p> <p>◆予算獲得のきっかけ:単独の予算ではなく、図書予算から執行している ◆構築業務の担い手:内部の人材</p> <p>◆コンテンツ作成費[理由]:0 円 [機材は既存のものを流用し、コンテンツは職員が作成]</p>
運営	<p>◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材</p>
技術	<p>◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:担当者 ◆準拠フォーマット:独自の基準</p> <p>◆利用・提供用ファイル:JPEG, GIF, html ◆保存用ファイル:JPEG, GIF, html ◆記録媒体:HD, DVD</p> <p>◆長期保存のための取組:どの記録媒体でもデータ劣化は避けられない。対応としては、古い記録媒体から新しい記録媒体への変換作業と機材が必要であるが、現時点で対処できていない。新図書館(H24 年 4 月開館予定)では、保存に適したスペースや必要機材を確保して対応したい</p> <p>◎課題・工夫点等:図書館報を印刷発行する際に、印刷業者からは PDF ファイルとしてデータを受け取り、それを担当職員が検索できるようにテキストデータも作成している。</p>
システム連携	<p>◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA</p>

別府大学附属図書館

住所:874-8501 別府市大字北石垣 82 開設年:無回答年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 300,000 冊 職員総数(非常勤を含む):5 人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔九州地区の私立大学では収録数がトップとなった〕 ②資料の保存・管理〔文献複写事務の軽減ができた〕 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:外部資金を活用するとともに経費の削減を心掛けている
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:司書課程教員(情報系)の支援 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等: ・司書課程の授業の中でデジタルアーカイブの実習 ・国立情報学研究所の CSI 事業で開催されている講習会に派遣(九大)
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔140件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況[連携内容]:連携している〔協同開発に参加している〕
その他 F.A.	・学生の実習でメタデータを作成している。 ・だれでもが簡略に構築できるシステムを採用している。

【別府大学附属図書館・提供アーカイブ】

■ BUILD 及び BUNGO (1 件目/1 件中)

公開年:2009 年 URL:<http://repebeppu-u.ac.jp/> 更新頻度:年数回程度

概要	BUILD (本学で生産される学術情報資源) BUNGO (地域連携を目指した地域学協会のコンテンツ) ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:2,500 件 [BUILD:2,000 件, BUNGO:500 件] ◆コンテンツ増加量:100 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:700 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:キーワード,目次等の付与。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:支援団体の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:国立情報学研究所 20-21 年度 CSI (領域 2) による ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11~50 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:支援団体の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:オープンソース・フリーソフトによる Windows 版リポジトリシステム ◆メタデータ作成者:図書館員・学生 ◆準拠フォーマット:MODS ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:サーバーを LINUX と Windows の 2 系統で運用している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, IRDB, AIRway

早稲田大学遠隔教育センター

住所:169-8050 新宿区戸塚町 1-104 開設年:2002年 設置母体:私立

所蔵資料:— 職員総数(常勤のみ):4人

目的 〔達成状況〕	①— ②— ③—
所蔵資料の 収録率	—
運営予算	◆年間予算に占める割合:— ◆外部委託費が占める割合:—
人員	◆運営担当者:— ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:— ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況:—
その他 F.A.	—

【早稲田大学遠隔教育センター・提供アーカイブ】

■早稲田大学 Open Course Ware (1 件目/1 件中)

公開年:2006年 URL:<http://www.waseda.jp/ocw/indexj.html> 更新頻度:年数回程度

概要	正規科目の講義資料および講義映像 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:64件 [※公開されている資料・映像数ではない] ※資料・映像公開科目を1件と数える ◆コンテンツ増加量:10件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:20,000件/月 [ほぼ一貫している] ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:科目の設置学部から検索が可能にしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:M.I.T.を中心に日本にOpen Course Ware 導入が推奨されたため ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [システム開発] ◆コンテンツ作成費[理由]:0円 [既にコンテンツ化された授業教材の転用のため]
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:放送大学 ICT 活用遠隔教育センター ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, rm, wmv, avi, doc ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:HD, その他:DV テープ ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない